

始



14.9.18

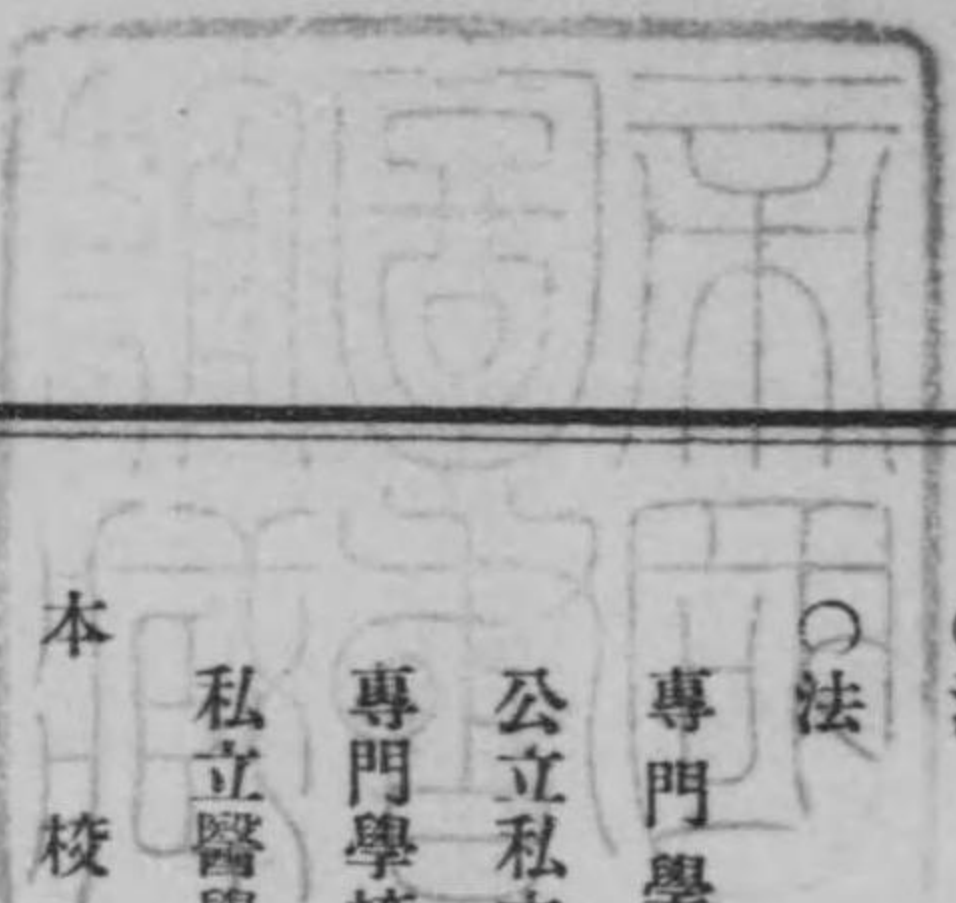
257  
15

日本醫學專門學校一覽

大正十一年四月編

本一覽卒業生欄内ニ於テ  
族籍、氏名及就職別等ニ異  
動又ハ誤謬アルコトヲ發  
見セラレ候節ハ本校庶務  
課へ御一報ヲ煩ハシ度候

287-15



日本醫學專門學校一覽

目次

○沿革

○法令

專門學校令

公立私立專門學校規程

專門學校入學者檢定規程

私立醫學專門學校指定規則

本校學則

第一章 總則

第二章 學科課程 (豫科、本科)

第三章 學年學期及休業

第四章 入學在學及休學退學除名

目次

校寄贈本



三 三 六 六 六 三 三 三 一

第五章	學費	三四
第六章	試驗	三五
第七章	獎表及懲戒	三六
第八章	學生心得	三九
第九章	服制	三九
第十章	外國人并殖民地人入學規程	四〇
第十一章	研究生	四〇
第十二章	獎學金又ハ寄附金	四一
第十三章	圖書器械及標本	四一
第十四條	圖書閱覽室	四二
第十五章	寄宿舍	四三
	職員及校務分掌	四四
	教授會	四五
	級長規程	五三

校友會	五三
日本醫學士會	五六
校旗規程	六二
材料檢査	六二
會計課規程	六三
物品會計規程	六六
火災警備規程	六七
宿直	六九
門衛	七〇
職員(豫科、本科)	七三
評議員	八〇
維持員理事	八〇
校友會役員	八一
職員異動	八二

目次

三

二

卒業生  
學生  
卒業生及學生府縣別一覽表  
敷地建物

九一  
一〇七  
一三三  
一七〇

四

### 日本醫學專門學校一覽

沿革

一、明治三十六年九月私立濟生學舎ノ廢止セラレ、ヤ多數醫學生ガ修業ノ機關ヲ失ヒタルニ依リ此等學生救濟ノ爲メ各所ニ醫學講習會相次テ起リ明治三十七年四月ニ至リ本郷區駒込千駄木町ニ東京醫學校及神田區淡路町ニ日本醫學校設立セラレタリ爾來是等醫學校ニ於テ各設備ノ改善ヲ謀リ四十二年ニ至リ日本醫學校ハ東京醫學校ヲ合併シ校舎ヲ本郷區駒込千駄木町五十九番地ニ定メタリ此間千有餘名ノ醫師ヲ出スニ至レリ明治四十五年三月專門學校令ニ依リ山根正次外六名財團法人私立日本醫學專門學校設立ヲ出願シ(校舎ハ本郷區駒込千駄木町五十九番地 附屬醫院ハ眞泉病院敷地建物全部)校長ニ醫學士山根正次就任同年七月十日文部大臣ノ認可ヲ得タリ

大正元年九月第一回本科第一學年生一三二名入學ヲ許可

大正二年二月本校在學生ニ對シ徵兵猶豫認可セラレ

四月、第二回入學志願者二八二名ニ對シ選拔試驗ヲ行ヒ一三四名入學ヲ許可ス

大正三年四月、山根校長辭任、醫學博士青柳登一校長就任

第三回入學者一二〇名入學ヲ許可ス

七月、青柳校長辭任、附屬真泉病院建物敷地全部都合ニヨリ財團ヨリ除去シ寄附者へ返付ス

九月、文部省督學官、丸山環外一名本校施設及教授ノ狀況ヲ視察ス

十二月、文部省督學官丸山環外三名本校施設並附屬病院ヲ視察ス

醫學博士天谷千松校長ニ就任ス

病理學教室(三坪)附屬病院各科外來診察所(四一坪五合)大手術室(二坪)臨床講義室(四坪)竣工ス

大正四年三月、本校學則中改正(入學料及卒業受驗料)ノ件文部大臣ヨリ認可セララル

四月、第四回入學志願者二四三名ニ對シ選抜試験ヲ行ヒ一〇一名入學ヲ許可ス

廿五日附屬醫院開院式ヲ行ヒ外來入院ノ診察ヲ開始ス

六月、醫師法第一條第一項第一號ニ依リ指定ヲ文部大臣ニ申請

第一回入學生卒業期繰上ゲニ關スル件文部大臣ヨリ認可セララル

七月、解剖及組織學教室(八坪)細菌及衛生學教室(九坪)第二號教室學生實習室(八〇坪)竣工ス

十月、東京府視學大島享藏外一名本校施設附屬醫院ヲ視察ス

十一月、御即位ノ大禮ヲ行ハセラル、ニ付祝賀式ヲ行ヒ職員學生一同謹ミテ奉祝ノ意ヲ表ス

大正五年四月、第五回入學志願者一九八名ニ對シ選抜試験ヲ行ヒ一〇名入學ヲ許可ス

五月、附屬醫院増築(醫員室、當直室、患者控室三十一坪二合五勺)竣工

七月、本校在學生四〇四名(卒受四四、四年生八七、三年生九一、二年生六二、一年生一二〇)依

願退學ヲ許可ス

八月、本校學則改正(學年學期變更)ノ件文部大臣ヨリ認可セララル

九月、第六回入學者一三六名入學ヲ許可ス

十月、天谷校長辭任

十一月、立太子ノ大禮ヲ行ハセラル、ニ付祝賀式ヲ行ヒ職員學生一同謹ンデ奉祝ノ意ヲ表ス

十二月、醫學士山根正次校長就任

第一回卒業生三十名ニ對シ卒業證書ヲ授與ス文部大臣代理關屋參事官臨場

大正六年五月、本校學則中朝鮮人、臺灣人、及外國人修學規定制定ノ件文部大臣ヨリ認可セララル

九月、第二回卒業生三十名聽講生四名(支那<sup>支那</sup>朝鮮<sup>朝鮮</sup>)ニ對シ卒業證書及畢業證書ヲ授與ス

文部大臣代理長屋督學官臨場

第七回入學者一二六名入學ヲ許可ス



大正七年四月、本校學則中改止(實習費増額)ノ件文部大臣ヨリ認可セラル

本校財團法人理事長山根正次、理事磯部檢藏、吾妻傳、増野豊、辭任

山根校長辭任

ドクトル、メヂチーネ小此木信六郎、醫學博士中原徳太郎、同鹽田廣重、法學士近藤達兒、理事ニ選任ス

理事長ニ小此木信六郎、學校長ニ中原徳太郎、學監ニ近藤達兒、教務顧問ニ鹽田廣重、就任ス

九月、第八回入學者一二七名ニ對シ選拔試験ヲ行ヒ一一八名ニ入學ヲ許可ス

第三回卒業生十八名聽講生十名(ヒリッピン 九名 支那 一名)ニ卒業證書及畢業證書ヲ授與ス

文部大臣代理專門學務局長松浦鎮次郎臨席ス

本校事務室、小使室、(五十坪)竣工ス

休戰條約成立祝賀ノタメ中原校長以下職員學生全部提灯行列ニ重橋前萬歳三唱、英、米、佛、伊、白、大公使館ヲ訪問ス

十二月築地本願寺ニ於テ解剖祭ヲ舉行ス

本校學則學年改止其他ヲ本校教授委員數回委員會開催審議シ十一月申請ノ處文部大臣ヨリ認可セ

ラル

病理學研究室、新設藥物學、生理學教室内部ノ改造醫化學、細菌學、病理學、臨床講義室、教授室、各教室内部ノ修繕器具材料ノ補修整備

大正八年二月、醫師法第一條第一項第一號ニ依リ指定ヲ文部大臣ニ申請ス

憲法發布三十年祝賀式ヲ本校職員、學生一同舉行シ本校評議員會長江原素六氏理事長小此木信六郎氏記念講演アリ終テ宮内省ニ出頭賀表ヲ捧呈ス

教授醫學士西川義方醫學博士ノ學位ヲ授ケラル

本校附屬醫院内部病室並ニ各科外來診察所改造並ニ器具材料補修整備

本校敷地南側及千駄木町五九、七〇番地建物五棟ヲ買收シ敷地ヲ擴張ス

四月、一日本校改正學則實施

第九回入學者一八二名ニ對シ選拔試験ヲ行ヒ一一七名聽講生八名(ヒリッピン 二名 支那 一名)入學ヲ許可ス

本校圖書課規程、會計課細則物品會計規程及雜並宿直規程、門衛規定ヲ定ム

五月、皇太子殿下御成年式奉祝式職員學生一同舉行シ中原校長ハ宮内省ニ出頭賀表及賀牋捧呈シ職員學生ハ午前午後ノ二回ニ學生監福士博士ノ監督ニテ宮城前ニ鹵簿奉拜ヲナス

本校圖書室（元東京帝國醫科大學教師故スクリバ氏遺族ヨリ書籍約五百餘冊ヲ寄贈）ハ十日ヨリ開館ス

東京帝國大學教授醫學博士林春雄本校ノ施設及教授ノ狀況ヲ視察ス

文部省視學委員栗本庸勝、本校卒業試驗及教授狀況並ニ本校施設ヲ視察ス

七月、講和條約成立祝賀式舉行吉野法學博士ノ講演アリ

本年度科學研究補助金五百圓文部省ヨリ教授福士博士ニ交付セラル

文部省専門學務局第二課長書記官澤田源一、本校試驗狀況並ニ本校施設ヲ視察ス

第四回卒業生五名、聽講生十四名（支那 六名）卒業證書及畢業證書ヲ授與ス

八月、本校名變更（日本醫學專門學校）及財團法人本校寄附行爲改正ノ件文部大臣ヨリ認可

文部省告示第二一一號

日本醫學專門學校

右ハ醫師法第一條第一項第一號ニ依リ指定ス

但此規定ハ大正八年九月以降ノ卒業生ニ限リ効力ヲ有スルモノトス

大正八年八月十九日

文部大臣 中橋德五郎

九月、本校記念日八月十九日記念日祝日十月十九日ト定ム

本校服制中學生帽章ヲ改正ス

九月、本校學則中（學費、學生會費増額ノ件）文部大臣ヨリ認可

十月、本校記念日ニ於テ記念式及祝賀式舉行ス、法學博士添田壽一氏記念講演、午後五時ヨリ祝賀提灯行列ヲ舉行文部省宮城前萬歲三唱及各理事者訪問敬意及祝意ヲ表ス

本校指定披露會上野精養軒ニ開催朝野名士三百名參會盛會ナリシ

文部省督學官芝田徹心本校卒業試驗狀況ヲ視察ス

十一月、本校寄附行爲中變更ノ件（名義變更）文部大臣ヨリ認可

築地本願寺ニ於テ解剖祭舉行

十二月、本校第五回卒業生（指定ノ）三十二名聽講生一名卒業證書及畢業證書ヲ授與ス

文部大臣代理松浦專門學務局長、東京府知事代理、東京市長代理、東京帝國大學醫學部近藤、林兩教授其他臨席ス

本校學期短縮ノ件文部大臣ヨリ認可

大正九年 二月文部省督學官芝田徹心本校視察ス

三月、本校學則中改正(檢定料學費卒業試驗料)ノ件文部大臣ヨリ認可  
 第十回入學志願者九百〇五名ニ對シ選抜試驗ヲ行ヒ本科生一三二名聽講生八名(支那 五、臺灣 一、ヒリッピン 一、朝鮮 一)  
 入學ヲ許可ス

五月、卒業試驗施行及第者二十四名(舊學則 入學者)

六月、本年度科學研究試料費トシテ文部省ヨリ金五百圓本校教授醫學博士福士政一ニ交付

七月、文部省令同第十六號ヲ以學生生徒身體檢查規定ヲ改正

八月、海軍省ヨリ海軍々醫學生召募ノ件告達アリ

九月、陸軍省ヨリ陸軍衛生部依託生徒召募ノ件告達アリ

十月、本校記念日祝日ニ付キ記念式舉行  
 法學博士子爵田尻稻次郎氏ノ講演  
 教育勅語御煥發三十年記念式ヲ舉行ス

十一月、海軍軍醫學生三名任命(海軍省)陸軍衛生部依託生徒二名任命(陸軍省)  
 明治神宮鎮座祭ニ付遙拜式ヲ舉行

本校第六回(指定?)卒業生(二十四名(五月卒業) 八十二名)聽講生五名卒業證書及畢業證書ヲ授與ス文部大臣代

理、秘書官東京府知事代理、東京市長代理帝國大學教授其他臨場  
 築地本願寺ニ於テ解剖祭舉行  
 本校附屬醫院看護婦寄宿舎新設

十二月、本校學則中改正(予科設置其他定員變更)ノ件文部大臣ヨリ認可セララル  
 大正十年一月

本校附屬醫院診察所(小兒科)増築  
 警視總監ヨリ本校附屬醫院看護婦講習科看護婦規則第二條第一項第二號ニ依リ講習所ト指定セラ  
 ル

三月、皇太子殿下海外御巡遊渡歐ニ付學校職員以下警視廳前ニ奉送ス

第十一回本科入學志願者五百六十名ニ對シ選抜試驗ヲ行ヒ本科生百二十名入學許可ス

四月、第十二回豫科入學志願者五百三十名ニ對シ選抜試驗ヲ行ヒ百六十名(内聽講生二名)入學ヲ  
 許可ス

四月、醫學博士林春雄、醫學博士平山金藏財團法人本校理事ニ就任ス

五月、本校第七回卒業生八十六名ニ卒業證書ヲ授與ス

文部大臣代理澤田書記官東京府知事代理、東京帝國大學醫學部長入澤博士、陸軍省醫務局長、鶴田軍醫總監、海軍省醫務局長代理其他臨場

六月、陸軍省令第十八號ヲ以テ陸軍依託學生又ハ生徒ハ授業其他一切ノ費用ニ充ツルタメ月額金三十圓支給ノ件公布セララル

本年度科學研究補助金五百圓文部省ヨリ教授醫學士保利定直ニ交付

教授醫學士田中幸一明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ醫學博士ノ學位ヲ授與セララル

七月、陸軍衛生部依託生徒六名任命(陸軍省) 海軍軍醫學生一名任命(海軍省)

皇太子殿下海外御巡遊御歸朝ニ付キ中原校長以下職員學生ハ日比谷公園正門前ニ奉迎ス

教授醫學士今井環明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ醫學博士ノ學位ヲ授與セララル

十月、皇太子御渡歐ニ關スル講話

宮内省書記官伯爵二荒芳徳

侍醫、醫學博士八田善之進

本校記念日祝日記念式舉行ス

文學博士藤岡勝二氏講演

十一月、築地本願寺ニ於テ解剖祭ヲ舉行ス

大阪商船株式會社ヨリ給費生推薦方照會ニ對シ六名選定

十二月、本校講舍建築申請ニ關シ警視廳ヨリ認可

本校學則中改正ノ件(學科課程及試驗其他) 文部大臣ヨリ認可

大正十一年

一月、本校講舍建築申請ニ關シ文部大臣ヨリ認可

二月、教授醫學士井上重喜明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ醫學博士ノ學位ヲ授與セララル

三月、文部省督學官葉山萬次郎本校試驗狀況ヲ視察ス

四月、第十三回豫科入學志願者九百四十八名ニ對シ選抜試驗ヲ行ヒ百五十名入學許可ス

陸軍次官ヨリ本年度陸軍衛生部依託生徒召募ノ件告達アリ

英國皇太子殿下御來邦ニ付キ學校ハ宮城前芝生地ニ職員以下奉迎シ御退京ノ際同地ニ奉送ス

○法令

一、專門學校令

(勅令第六十一號  
明治三十六年三月二十七日)

- 第一條 高等ノ學術技藝ヲ教授スル學校ハ專門學校トス  
專門學校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ノ規程ニ據ルヘシ
- 第二條 北海道府縣又ハ市ハ土地ノ狀況ニ依リ必要アル場合ニ限り專門學校ヲ設置スルコトヲ得但  
沖繩縣ハ此ノ限リニアラス
- 第三條 私人ハ專門學校ヲ設置スルコトヲ得
- 第四條 公立又ハ私立ノ專門學校ノ設置廢止ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ
- 第五條 專門學校ノ入學資格ハ中學校若クハ修業年限四ケ年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタルモノ又  
ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタルモノ以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ但美術、音  
樂ニ關スル學術技藝ヲ教授スル專門學校ニ就テハ文部大臣ハ別ニ其入學資格ヲ定ムルコトヲ得  
前項檢定ニ關スル規定ハ文部大臣之ヲ定ム
- 第六條 專門學校ノ修業年限ハ三ケ年以上トス

第七條 專門學校ニ於テハ豫科研究科及別科ヲ置クコトヲ得

第八條 官立專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其程度並ニ豫科、研究科及別科ニ關スル規程ハ  
文部大臣之ヲ定ム公立又ハ私立ノ專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其程度並ニ豫科、研究科  
及別科ニ關スル規程ハ公立學校ニ在リテハ管理者、私立學校ニ在リテハ設立者文部大臣ノ認可ヲ  
經テ之ヲ定ム

第九條 公立又ハ私立ノ專門學校ノ教員ノ資格ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十條 公立專門學校ノ職員ノ旅費及給與ニ關スル規程ハ文部大臣ノ認可ヲ經テ地方長官之ヲ定ム

第十一條 公立ノ專門學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スヘシ但特別ノ場合ニハ之ヲ減免シ又ハ徵收セサ  
ルコトヲ得

第十二條 第一條ニ該當セサル學校ハ專門學校ト稱スルコトヲ得ス

附 則

第十三條 本令ハ明治三十六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十四條 明治二十年勅令第四十八號ハ之ヲ廢止ス

第十五條 既設ノ公立又ハ私立ノ學校ニシテ本令ニ依ルヘキモノハ本令施行ノ日ヨリ一ケ年以内ニ

第四條ニ準シ認可ヲ申請スヘシ

前項ノ手續ヲ爲ササルモノハ前項ノ期間ノ滿了ト共ニ廢校シタルモノト看做ス

第一項ノ手續ヲ爲スモ不認可ノ命令ヲ受ケタルモノハ其ノ命令ヲ受ケタル日ニ於テ廢校シタルモノト看做ス

第十六條 千葉醫學專門學校、仙臺醫學專門學校、岡山醫學專門學校、金澤醫學專門學校、長崎醫學專門學校、東京外國語學校、東京美術學校及東京音樂學校ハ本令施行ノ日ヨリ專門學校トス

### 二、公立私立專門學校規定

(文部省令第十三號  
明治三十六年三月三十一日)

第一條 專門學校令第四條ニ依リ專門學校ノ設置ノ認可ヲ受ケントスルモノハ公立學校ニ在リテハ管理者私立學校ニ在リテハ設立者ニ於テ左ノ事項ヲ具シ文部大臣ニ申請スヘシ

- 一 目的
- 二 名稱
- 三 位置
- 四 學則

五 生徒職員

六 敷地建物ノ圖面及其所有ノ區別

七 開校年月

八 經費及維持ノ方法

九 設立者ノ履歷

醫學專門學校ニ就キテハ臨床實習用病院ノ位置敷地建物ノ圖面臨床實習用患者ノ定員及解剖用屍體ノ豫定數ヲ具スヘシ

第一項第二項ノ敷地ニ關スル圖面ニハ面積、地質及附近ノ狀況ヲ記シ且飲料水質ノ調査書ヲ添付スヘシ

第一項第一號乃至第七號第二項ニ掲ケタル事項ノ變更ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第一項第八號ニ掲ケタル事項ノ變更ハ遲滞ナク文部大臣ニ届出ベシ

第二條 專門學校ハ敷地、校舍、校具其他必要ノ設備ヲ爲スヘシ

第三條 敷地ハ學校ノ規模ニ適應セル面積ヲ有シ且道德上及衛生上害ナキ所タルヘシ

第四條 校舍ニハ左ノ諸室ヲ備フヘシ

- 一 教室
  - 二 事務室
  - 三 其他必要ナル實驗室、實習室、研究室、圖書室、器械室、標本室、藥品室、製煉室等ノ諸室  
校舎ハ教授上管理上並ニ衛生上適當ニシテ堅牢ナルコトヲ要ス
  - 第五條 校具ハ教授上必要ナル圖書、器械、器具、標本、模型等トス
  - 第六條 專門學校ニ於テハ左ノ表簿ヲ備フヘシ
    - 一 學則、日課、教科用圖書配當表
    - 二 職員ノ名簿及履歷書、出勤簿、擔任學科及時間表
    - 三 生徒學籍簿、出席簿、徵兵猶豫ニ關スル書類
    - 四 試驗ノ問題、答案及成績表
    - 五 資産原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿
- 生徒學籍簿ニハ生徒ノ氏名、族籍、居所生年月日入學前ノ學歷、入學、轉學、退學ノ年月日及學年、卒業ノ年月日、入學試驗ノ有無、轉學退學ノ事由、徵兵事故、保證人ノ氏名及居所等ヲ記載スヘシ別科ノ生徒ニ關シテハ出席簿、徵兵猶豫ニ關スル書類ヲ省略シ及學籍簿ノ記入事項ヲ便宜

省略スルコトヲ得

第七條 專門學校ノ教員タルコトヲ得ヘキ者左ノ如シ

- 一 學位ヲ有スル者
  - 二 帝國大學分科大學卒業者又ハ官立學校ノ卒業生ニシテ學士ト稱スルコトヲ得ル者
  - 三 文部大臣ノ指定シタルモノ
  - 四 文部大臣ノ認可シタルモノ
- 前項第一號乃至第四號ニ該當スル者ヲ得難キ場合ニ於テハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ一時他ノ者ヲ以テ教員ニ代用スルコトヲ得
- 第二項ニ依リ認可ヲ受ケントスル場合ニハ公立學校ニ在リテハ管理者私立學校ニ在リテハ設立者ニ於テ本人ノ履歷書ヲ具シ文部大臣ニ申請スヘシ
- 但奏薦ニ依リ任命セラル、者ニ就テ別ニ認可ノ手續ヲ經ルコトヲ要セス
- 文部大臣ハ必要ト認ムルトキハ前項ノ場合ニ於テ學術ノ檢定ヲ行フコトアルヘシ
- 本條ニ依ル文部大臣ノ認可ハ當該學校在職中ニ限り有効トス
- 第八條 專門學校ニ於テ本科生徒ヲ入學セシムルハ毎年一回トス其ノ期間ハ三十日以内トス

但學科課程相同シキ專門學校ニ於ケル生徒ノ轉學ニハ本文ヲ適用セス  
 專門學校ノ本科第二學年以上ニ入學ヲ許スヘキ者ハ本科第一學年ニ入學スルコトヲ得ル資格ヲ有  
 シ且前各學年ノ學科課程ヲ卒リタル者ト同等ノ學力ヲ有スル者タルヘシ學年級ヲ設ケサル專門學  
 校ニ就キテモ亦之ニ準ス

前項入學者ノ學力ハ總テ試験ニ依リ之ヲ檢定スヘシ

第九條 美術學校、音樂學校ノ入學資格ハ中學校若クハ高等女學校第參學年修了ノ程度以上ニ於テ  
 之ヲ定ムベシ

第十條 學校長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命スヘシ

- 一 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者
- 二 學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者
- 三 引續キ一ケ年以上缺席シタル者
- 四 正當ノ事由ナクシテ引續キ一ケ月以上缺席シタル者
- 第十一條 學校長ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得
- 第十二條 專門學校ノ學則中ニ規定スヘキ事項凡ソ左ノ如シ

- 一 入學資格、修業年限、學科、學科目、學科程度ニ關スル事項
- 二 學年、學期、休業日ニ關スル事項
- 三 入學、退學、進級、卒業等ニ關スル事項
- 四 懲戒ニ關スル事項
- 五 入學料、授業料等ニ關スル事項
- 六 豫科、研究科、別科ニ關スル事項
- 七 寄宿舎ニ關スル事項
- 第十三條 專門學校令第四條ニ依リ專門學校ノ廢止ノ認可ヲ受ケントスルモノハ其理由及生徒ノ處  
 分方法ヲ具シ文部大臣ニ申請スヘシ
- 第十四條 專門學校令第十五號ニ依リ文部大臣ノ認可ヲ受ケントスルモノニ付テハ本令第一條ヲ準  
 用ス
- 第十五條 實業專門學校ニ關シテハ特別ノ規定アル場合ニハ本令ヲ適用セス

附 則

本令ハ明治三十六年四月一日ヨリ施行ス



明治十五年文部省達第四號及同第五號及同第六號中甲種藥學校ニ關スル規程ハ之ヲ廢止ス

### 三、專門學校入學者檢定規程

(文部省令第十四條  
明治三十六年三月三十一日)

第一條 專門學校ノ本科ニ入學セントスル者ニシテ中學校若クハ修業年限四ケ年以上ノ高等女學校ヲ卒業セサル者ハ此規程ニ依リ檢定ヲ受クヘキモノトス

第二條 檢定ヲ受ケントスル者ハ左ノ資格ヲ具備スルコトヲ要ス

一 年齡男子ハ滿十七年以上女子ハ滿十六年以上ナルコト

二 身體健全ナルコト

三 品行方正ナルコト

四 現ニ中學校若クハ高等女學校ニ在學セサルコト

第三條 檢定ヲ分チ試驗檢定、無試驗檢定ノ二トシ、試驗檢定ハ官立、公立ノ中學校若クハ修業年限四ケ年以上ノ高等女學校ニ於テ便宜之ヲ行ヒ無試驗檢定ハ當該專門學校ニ於テ生徒入學ノ際之ヲ行フ

第四條 試驗檢定ノ學科目及其程度ハ中學校若クハ修業年限四ケ年ノ高等女學校ノ各學科目及其卒

業ノ程度トス但中學校若クハ高等女學校ニ於テ加除シ又ハ課セサルコトヲ得ル學科目ハ之ヲ省ク

第五條 官立、公立ノ中學校若クハ高等女學校ニ於テハ試驗檢定ニ合格シタル者ニハ試驗檢定合格證書ヲ交付スヘシ

第六條 官立、公立ノ中學校若クハ高等女學校ニ於テハ試驗檢定ノ問題、答案及成績表ハ五ケ年以上保存スヘシ

第七條 官立、公立ノ中學校若クハ高等女學校ハ試驗檢定手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第八條 左ニ掲クル者ハ無試驗檢定ヲ受クルコトヲ得

一 文部大臣ニ於テ專門學校ノ入學ニ關シ中學校若クハ修業年限四ケ年ノ高等女學校ノ卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定シタル者

附 則

本令ハ明治三十六年四月一日ヨリ施行ス

### 四、私立醫學專門學校指定規則

(文部省令第十二號  
明治三十八年七月一日)

第一條 私立醫學專門學校ニシテ醫師免許規則第三條ニ依リ文部大臣ノ指定ヲ受ケントスルトキハ

其設立者ニ於テ左ノ事項ヲ具シ申請スヘシ但特別ノ規定ニ依リ既ニ文部大臣ニ開申シタル事項ハ之ヲ省略スルコトヲ得

- 一 現在生徒ノ學年及學級別人員
- 二 卒業生ノ員數及卒業後ノ情況
- 三 教員ノ氏名資格擔當學科目及專任兼任ノ區別
- 四 教授用並實驗及實習用ノ器具、器械、標本及模型、目錄
- 五 實習用患者ノ入院外來別現在人員並ニ最近一ケ年間各月ニ於ケル入院外來新來再來別日々平均人員
- 六 實習用解剖屍體ノ最近一ケ年間實數

第二條 指定ヲ爲スヘキ學校ハ左ノ各號ニ該當シ文部大臣ニ於テ其管理及維持ノ方法確實ニシテ其成績佳良ト認ムルモノニ限ル

- 一 生徒ノ定員ニ對シ相當ナル校地、校舍、校具、病院其他ノ設備アルコト
- 二 必修學科目トシテ少クトモ解剖學實習、生理學、病理學、藥物學、內科學、臨床講義外科學、臨床講義眼科、臨床講義醫學、臨床講義產科學、臨床講義婦人科學、臨床講義衛生學、臨床講義法醫學ヲ教授シ修業年限四ケ年以上ナルコト

三 前號各學科目毎ニ少クトモ公立私立專門學校規程第七條第一項ノ資格ヲ有スル教員一人ヲ採用スルコト

四 專門學校トシテ認可ヲ受ケタル學則ヲ實施シタル後二ケ年ヲ經過シタルコト

五 實習用患者ノ數ハ每學年ノ平均生徒數(本科生)百人以内ノ學校ニ於テハ入院患者二十五人以上外來患者三十人以上トシ以上生徒十人ヲ増ス毎ニ入院患者外來患者各二人ヲ増スコト

六 實習用解剖屍體ノ數ハ每學年ノ平均生徒數(本科生)百人以内ノ學校ニ於テハ毎年二十體以上トシ以上生徒十人ヲ増ス毎ニ一體ヲ増スコト

第三條 指定學校ニ於テ別科生等ヲ入學セシムルトキハ其學籍簿ヲ別冊トナスヘシ指定ノ効力ハ前項ノ生徒ニ及ハス

第四條 指定學校ニ於テハ學則所定ノ授業時數中授業ヲ受ケサルコト三分ノ一以上ニ及フ生徒ハ進級若クハ卒業セシムルコトヲ得ス

第五條 指定學校ニ於テ學年試驗若クハ卒業試驗ヲ施行セントスルトキハ三十日前ニ文部大臣ニ開申スヘシ

第六條 文部大臣ハ醫術開業試驗委員若クハ其他ノ吏員ヲシテ試驗ニ立會ハシムルコトアルヘシ

前項委員若クハ其他ノ吏員ニ於テ試験問題若クハ試験ノ方法不適當ト認ムルトキハ之ヲ變更シ若クハ變更セシムルコトアルヘシ

第六條ノ二 指定學校ハ本科ノ卒業試験合格者ノ族籍、氏名、生年月及各學科目點數ヲ具シ試験後遲滞ナク文部大臣ニ開申スヘシ

第七條 指定學校ハ毎年六月三十日ノ調査ニ依リ翌月中ニ第一條第一號第三號第五號第六號並ニ左ニ掲クル事項ヲ具シ文部大臣ニ申報スヘシ但特別ノ規定ニ依リ文部大臣ニ申報スヘキ事項ハ之ヲ省略スルコトヲ得

一 當該年度經費豫算ノ細目

二 前年中卒業者員數並ニ卒業後ノ情況

第八條 指定學校ニシテ本令ニ違背シ若クハ第二條ノ要件ノ一ヲ失ヒ其他成績不良ナリト認メタルトキハ文部大臣ハ其指定ヲ取消スコトアル可シ

第九條 此規則ニ依リ文部大臣ニ提出スヘキ書類ハ地方長官ヲ經由スルコトヲ要ス

地方長官ニ於テ前項ノ書類ヲ受理シタルトキハ其書類及實況ヲ精査シ意見ヲ付シテ進達スヘシ

明治四十年文部省令第三十五號附則

明治十六年十月第三十五號布告醫師免許規則第三條ニ依リ文部大臣ノ指定シタル私立醫學專門學校ハ醫師法第一條第一項第一號ニ依リ指定シタルモノト看做ス

# 日本醫學專門學校學則

大正七年十二月二十五日改正認可  
大正八年八月二十八日改正認可  
大正九年十二月二十六日改正認可  
大正十年十二月二十六日改正認可

## 目次

第一章	總則
第二章	學科課程(豫科、本科)
第三章	學年學期及休業
第四章	入學在學及休學退學除名
第五章	學費
第六章	試驗
第七章	獎表及懲戒
第八章	學生心得
第九章	服制
第十章	外國人並殖民地人入學規程

第十一章	研究生
第十二章	獎學金及寄附金
第十三章	圖書器械及標本
第十四章	圖書閱覽室
第十五章	寄宿舍
	職員及校務分掌
	教授會
	級長規程
	校友會







第五章 學 費 (授業料及會費卒業試験料)

第二十一條 授業料ハ一學年豫科金百圓本科百五拾圓校友會費金拾圓並ニ卒業試験料金五拾圓トシ左ノ如ク分納スヘシ

豫科	第一期	授業料	金五拾圓	納期日	自四月一日至四月十五日
	第二期	授業料	金五拾圓	納期日	自十月一日至十月十五日
本科	第一期	授業料	金七拾五圓	納期日	自四月一日至四月十五日
	第二期	授業料	金七拾五圓	納期日	自十月一日至十月十五日
前期卒業試験料	金貳拾圓	納期日	ハ卒業試験前ニ指示ス		
後期卒業試験料	金參拾圓	同			

實習費ハ隨時之ヲ定ム但シ特別ノ場合ヲ除クノ外徴收セス

第二十二條 定期日內ニ學費ヲ納附セサルモノハ未納中停學ヲ命シ尙未納二十日ニ及フモノハ除名ス  
第二十三條 在學中ハ例令休學停學ノ場合モ授業料ハ免除セス

第六章 試 驗

但シ兵役ノタメ休學スルモノハ月割ヲ以テ免除ス

第二十四條 試験ハ豫科本科共毎學年ノ終末ニ於テ其學年中履修シタル學科ニ就キ之ヲ行フ

第二十五條 豫科學年試験合格者ハ本科第一學年ニ編入シ不合格者ハ除名ス

但シ成業ノ見込アリト認ムル者ハ原級ニ止ムルコトアルヘシ

第二十六條 試験成績ハ當學年ニ於ケル勤惰平常行狀成績及學業進歩ノ狀況並ニ試験成績ヲ参照シテ之ヲ定ム

第二十七條 學年試験ノ成績評點左ノ條件ノ一ニ該當スルモノハ進級セシメス

- 一、各學年平均六十點未滿ナルコト
- 二、一科目四十點未滿ナルコト
- 三、六十點未滿ノモノ其學年學課目ノ半數ヲ過キシトキ

第二十八條 所定ノ授業時數中授業ヲ受ケサルコト三分ノ一以上ニ及フ者ハ進級ヲ許サス

第二十九條 疾病又ハ止ムヲ得サル事故アリテ試験定日ニ出席シ難キトキハ當日迄ニ其旨届出ヘシ但シ疾病ニ由ル者ハ主治醫ノ診斷書ヲ添附シ事故ニ依ルモノハ其事由ヲ詳記スヘシ



第二十條 試験ニ缺席セシ者ニシテ事情止ヲ得サルモノト認ムル者ニ限り次學年又ハ次學期ノ開始前後ニ於テ追試験ヲ受ケシムルコトアルヘシ

第二十一條 追試験ハ其成績ヨリ一割ヲ減點シ尙追試験料トシテ一科目ニ付金五圓トシ一科目ヲ増ス毎ニ金參圓ヲ徵收ス 但シ徵兵ニ依ル者ハ此限リニアラス

第二十二條 試験ニ落第シタル者ハ原級ニ止ム

第二十三條 卒業試験ハ之ヲ前期試験後期試験ニ分チ之ヲ施行ス

第二十四條 前期試験ハ第二學年ノ學年試験ニ及第シタル者ニ對シ後期試験ハ第四學年ノ學年試験ニ及第シタル者ニ對シ左ノ學科目ニ就テ之ヲ行フ

第二十五條 卒業試験ハ理論試験及實地試験トス理論試験ハ前期試験、後期試験ノ全科目ニ就キ之ヲ行フ  
實地試験ハ內科學、外科學、產科學、眼科學ニ就キ之ヲ行フ但シ產科學、眼科學ニ就テハ抽籤ニヨリ其一ヲ選ハシム

- 前期試験
- 解剖學 組織學 生理學 醫化學
- 病理學 藥物學 衛生學 細菌學 內科學 外科學

後期試験

- 產科學 婦人科學
  - 眼科學 皮膚、花柳病學 耳鼻咽喉科學 小兒科學 精神病學
- 第三十六條 理論試験ハ口答又ハ筆答トシ實地試験ハ標本死體及患者ニ就キ施行ス
- 第三十七條 卒業試験ニ於ケル學科目ノ成績ハ平素ノ行狀成績及學年試験成績ヲ參照シ之ヲ定メ六十點以上ヲ及第トス

第三十八條 卒業試験六十點未滿ノ成績總學科ノ半數ヲ超ユルモノハ落第トス

第三十九條 卒業試験ニ落第シタルモノハ第二學年又ハ第四年ニ止メ翌年施行ノ前期試験又ハ後期試験ノミヲ受ケシム

第四十條 受験者若シ疾病等ニ罹リ試験定日ニ出席シ難キトキハ第二十九條ノ手續ニ依リ其旨届出ツヘシ

但シ本文ノ場合ト雖モ該試験又ハ次回ノ試験期ニアラサレハ試験ヲ受クルコトヲ許サス

第四十一條 卒業試験ニ及第シタル者ハ左記ノ卒業證書ヲ授與ス

番 號	卒業證書	府縣族籍	氏 名
校印			生年月日
本校規定ノ醫學科ヲ修メ正ニ其業ヲ卒ヘタリ依テ之ヲ證ス			
年	月	日	
日本醫學專門學校校長學位氏名印			

第四十二條 卒業生ハ日本醫學專門學校醫學士ト稱スルコトヲ得

### 第七章 獎表及懲戒

第四十三條 學績優秀品行方正ナルモノヲ選ヒテ特待生トス

第四十四條 特待生ハ每學年ノ始メニ於テ校長之ヲ選定ス

第四十五條 特待生ハ其學年間授業料ヲ免除ス

第四十六條 學生品行不良又ハ校則風儀ヲ紊亂シ其他學生ノ本分ヲ違ルトキハ之ヲ處分ス

第四十七條 處分ハ譴責、停學、退學ノ三種トス

第四十八條 本章ノ處分ヲ受ケタル者ハ之ヲ揭示スルト同時ニ保證人ニ通達スルモノトス

### 第八章 學生心得

第四十九條 本校學生ハ明治二十三年十月三十日聖勅ノ趣旨ヲ銘心服膺スヘシ

第五十條 學生ハ左ノ諸項ヲ服膺シ善美ナル校風ヲ發揮スヘシ

- 一 本校則ヲ遵守シ上長ヲ敬ヒ學友ト親愛ナルコト
- 一 志操ヲ固クシ言行一致ヲ期スルコト
- 一 風紀ヲ守リ禮儀ヲ重シ公德ヲ養フヘキコト
- 一 身體ノ攝生ニ注意シ質素儉約ヲ旨トシ専心學業ニ勉勵スルコト
- 一 授業時刻ニ遅レ教場ニ入り又授業中猥リニ教場ヲ去ルヘカラサルコト
- 一 集會ハ校ノ内外ヲ問ハス願出許可ヲ受ク可キコト
- 一 建造物器具器械圖書等ヲ毀損汚染スヘカラス若シ之ヲナシタルトキハ其損害ヲ辨償セシムコトアルヘシ

### 第九章 服制

第五十一條 學生ハ本校制定ノ被服ヲ着用スヘシ  
第五十二條 制定ノ被服左ノ如シ

制式	制式	制式	制式	制式	制式	制式	制式
帽	帽	帽	帽	冬服	夏服	冬服	靴
角帽	紗帽	眞鍮	濃紺絨(羅紗)	脊廣詰襟	同	同	上
品質	羅紗	眞鍮	濃紺絨(羅紗)	同	同	同	上
色	黒	金	紺	同	同	同	黒
卸色	金	色	紺	同	同	同	上

夏服着用中ハ略帽ヲ用フルコトヲ得其他詳細ニ關シテハ校長之ヲ定ム  
第五十三條 更衣ノ期日ハ其都度之ヲ定ム

### 第十章 外國人并ニ殖民地人入學規程

第五十四條 外國人並ニ殖民地人ニシテ本邦中學校ヲ卒業セスシテ入學ヲ出願スルモノアルトキハ其學力ヲ檢定シ入學ヲ許可スルコトアルヘシ  
但檢定ハ本邦中學校卒業程度ニ依ル

第五十五條 入學者ハ本校規程以外ノ事項ハ本校學則ヲ遵守スヘシ

### 第十一章 研究生

- 第一 本校ニ研究生ヲ置キ特殊ノ事項ヲ研究セシム
- 第二 研究生タルコトヲ得ルモノハ本校卒業生及醫師免狀ヲ有スルモノ
- 第三 研究生ノ定員ハ別ニ之ヲ定ム
- 第四 研究生タラント欲スルモノハ希望ノ事項ヲ記シ左記ノ願書ヲ差出スヘシ  
 研究生願  
 私儀御校研究生規程ニ依リ(何科)研究仕度此段相願候也  
 年 月 日  
 校 長 殿  
 何 之 某 印
- 第五 研究生ノ期限ハ一年トシ各研究生ニ對シテハ校長指導教授ヲ指定ス
- 第六 研究費ハ一ケ年金百圓トシ之ヲ前納セシム
- 第七 研究生研究ヲ完了シタルトキハ之ニ關スル論文ヲ提出スベシ

第八 研究生ハ例令論文完了セスト雖モ一年毎ニ又ハ他ニ移動ノ場合ハ必ス研究經過ヲ報告スルモ  
トス

### 第十二章 奨學金又ハ寄附金

第一 社團又ハ一人ヨリ奨學金又ハ寄附金ヲ受クルトキハ本校理事者ニ於テ之ヲ處理ス

### 第十三章 圖書器械及標本

- 第一 圖書器械及標本ハ教授上ノ用ニ供ス
- 第二 職員公務上必要ノ圖書ハ參考用トシテ之ヲ借受スルコトヲ得
- 第三 圖書ヲ借受クルモノハ定式ノ證書ヲ圖書課ニ差出スヘシ
- 第四 借受シタル圖書ハ他人ヘ轉貸スルコトヲ許サス
- 第五 借受シタル圖書ハ夏季休業前ニ於テ一時返却スヘシ
- 第六 借受シタル圖書ヲ毀損シ若クハ紛失シタル者ハ修繕ヲ加ヘシメ又ハ同一ノ圖書ヲ以テ償ハシ  
ムルコトアルヘシ

- 第七 學生ノ圖書閱覽ハ圖書閱覽室ノ規定ニ依ラシム
- 第八 器械及標本ハ各教室主任之ヲ管理ス

### 第十四章 圖書閱覽室

- 第一 圖書閱覽ハ職員學生參考ノ爲メ圖書ヲ閱覽スル所トス
- 第二 閱覽用ノ圖書ハ主任ノ許可アルニアラサレハ之ヲ室外ニ携出スルコトヲ得ス
- 第三 圖書ヲ閱覽セントスルモノハ本校所定ノ圖書閱覽券ニ「カード」番號著者及氏名冊數ヲ記入シ  
テ圖書係ニ差出スヘシ
- 第四 閱覽時間ハ午前八時ヨリ午後四時迄トスルモ日ノ長短ニ依リ多少伸縮スルコトアルヘシ
- 第五 閱覽室内ニ於テハ靜肅ヲ旨トシ談話音讀ヲナスヘカラス

### 第十五章 寄 宿 舍

- 第一 寄宿舍ノ設備ハ追テ之ヲ定ム

### 職員及校務分掌

第一條 本校ニ左ノ職員ヲ置ク

- 一 校長
- 二 學 監
- 三 教 授
- 四 助 教 授
- 五 學 生 監
- 六 醫 員
- 七 助 手
- 八 書 記

第二條 校長ハ本校ヲ統理ス學監ハ校長ヲ補佐シ校長差支アルトキハ校長ノ事務ヲ代理ス教授及助教授ハ校長ノ旨ヲ受ケ教務ヲ司リ學生監ハ教授及助教授ヨリ兼任シ校長ノ旨ヲ受ケテ學生ノ取締リヲ司ル

職員ハ院長ノ指揮ヲ受ケテ附屬醫院及外來診察所ノ事務ニ服ス助手ハ教授及助教授ノ命ヲ受ケテ教務ニ従事ス

書記ハ校長ノ指揮ヲ受ケテ庶務ニ従事ス

第二條 校務ヲ分掌スルタメ左ノ各課ヲ置ク

- 教 務 課
- 學 生 課
- 庶 務 課
- 會 計 課
- 圖 書 課

第四條 各課ニ主任ヲ置キ職員中ヨリ校長之ヲ選定シ各所屬事務ヲ掌理セシム

毎月一回教務並ニ院務上ニ關シ理事校長學監、學生監、各課、室主任並ニ附屬醫院長會合シ業務連絡打合ヲナスモノトス

第五條 各課員ハ主任ノ命ヲ受ケ各其職務ニ従事ス

但シ相互ノ連繫ヲ保チテ彼是業務ノ繁閑ニヨリ相互ニ補助シ協力以テ業務ノ進捗整理ヲ期スル

モノトス

第六條 各課ノ擔任スヘキ事務要項左ノ如シ

教 務 課

- 一 教室及日課配當ニ關スル事
- 二 教員 出勤調査ニ關スル事
- 三 學生募集ニ關スル事
- 四 學生入學休學退學ニ關スル事
- 五 試驗成績ニ關スル事
- 六 學生ノ進級卒業ニ關スル事
- 七 行軍演習及修學旅行ニ關スル事
- 八 屍體解剖ニ關スル事
- 九 特待生ニ關スル事
- 十 教授會ニ關スル事

- 十一 本課ニ關スル備付物品ヲ管守スル事
- 十二 其他教務ニ關スル事項

學 生 課

- 一 學生ノ學籍ニ關スル事
- 二 學生ノ取諦ニ關スル事
- 三 學生ノ宿所調査ニ關スル事
- 四 學生ノ出席及缺席調査ニ關スル事
- 五 學生ノ衛生及身體検査ニ關スル事
- 六 學生ノ願届證明ニ關スル事
- 七 學生ノ賞罰ニ關スル事
- 八 學生ノ控所教室取締ニ關スル事
- 九 學生ノ諸集會ニ關スル事
- 十 學生ノ服裝ニ關スル事

職員及校務分掌

- 士 級長ニ關スル事
- 士 學生ノ徵兵ニ關スル事
- 士 本課ニ屬スル備付物品ヲ管守スル事

庶務課

- 一 校長印及校印ヲ管守スル事
- 二 校則ニ關スル事
- 三 儀式ニ關スル事
- 四 寄附願ニ關スル事
- 五 各課起案ノ回議ヲ審査スル事
- 六 職員ノ進退及服務ニ關スル事
- 七 職員願届ニ關スル事
- 八 事務員以下ノ出勤ニ關スル事
- 九 宿直ニ關スル事

- 十 文書往復及接受ニ關スル事
- 十一 常備人ノ進退及取締ニ關スル事
- 十二 校内ノ警備及取締ニ關スル事
- 十三 參觀人取扱ニ關スル事
- 十四 職員名簿及履歷書ニ關スル事
- 十五 生徒募集ニ關スル事
- 十六 一覽年報、官報報告ニ關スル事
- 十七 本課ニ屬スル備付物品ヲ管守スル事
- 十八 他ノ主管ニ屬セサル一切ノ事項

會計課

- 一 資金ニ關スル事
- 二 豫算及決算ニ關スル事
- 三 物品ノ購入及賣却ニ關スル事

- 四 金錢ノ收支ニ關スル事
- 五 物品ノ出納保管ニ關スル事
- 六 土地建物ニ關スル事
- 七 人夫ノ傭入レニ關スル事
- 八 前項ノ外スヘテ會計ニ關スル事

### 圖 書 課

- 一 圖書印ヲ管守スル事
- 二 圖書ノ保管ニ關スル事
- 三 圖書ノ目錄編纂ニ關スル事
- 四 圖書貸付ニ關スル事
- 五 圖書室ノ取締ニ關スル事
- 六 備付物品ヲ管守スル事
- 七 其他圖書ニ關スル一切ノ事項

### 教 授 會

- 第一條 教授會ハ本校教授ヲ以テ之ヲ組織シ學校長之カ議長トナル
- 第二條 教授會ハ左ノ事項ニ就キ學校長ノ諮詢ニ應シ左ノ事項ヲ審議スルモノトス
  - 一 學科課程ニ關スル事項
  - 二 學業及試験ニ關スル事
  - 三 學生ノ取締ニ關スル事項
  - 四 前各項ノ外臨時必要ト認ムル事項
- 第三條 教授會ハ必要ノ都度隨時之ヲ開クモノトス
- 第四條 教授會ハ議事ヲ當日出席教授過半數ヲ以テ決シ其決議ハ理事長ニ報告スルモノトス
- 第五條 教授會ノ事務ハ教務課ニ於テ之ヲ掌理ス



## 級長規程

- 第一條 各學年ニ級長副級長各一名ヲ置ク
- 第二條 正副級長ハ每學年ノ始メニ於テ各級互選ニ依ル候補者中ヨリ之ヲ任命ス  
但シ校友會委員ノ職ニアルモノハ之ヲ除ク
- 第三條 級長ハ其學年級諸般ノ事項ヲ擔當ス  
副級長ハ級長ヲ補佐ス

## 校友會

- 第一條 本會ハ會員相互ノ親睦融和ヲ圖リ德性ヲ涵養シ學術ヲ攻究シ身體ヲ鍛練シ校風ヲ發揚スルヲ目的トス
- 第二條 本會ハ日本醫學專門學校校友會ト稱シ事務所ヲ本校内ニ置ク
- 第三條 本會ハ本校在學生ヲ正會員卒業生ヲ特別會員職員ヲ名譽會員トス
- 第四條 本會ニ左ノ各部ヲ置ク

學術部——雜誌部、講演部

運動部——劍道部、柔道部、庭球部、相撲部、野球部、

第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 一 顧問 若干名 本校專任理事中ヨリ推戴ス
- 二 會長 一名 本校學監トス
- 三 副會長 一名 名譽會員中ヨリ之ヲ選任ス
- 四 部長 四名 名譽會員中ヨリ之ヲ選任ス
- 五 常任委員 二十名 正會員中ヨリ互選ニ依リテ之ヲ定ム
- 六 書記 若干名 本校職員中ヨリ之ヲ委嘱ス

第六條 本會役員ノ任務ハ左ノ如シ

- 一 顧問ハ重要ナル會務ノ諮問ニ應ス
- 二 會長ハ會務ヲ總理ス
- 三 副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス
- 四 部長ハ部務ヲ管理ス

五 委員ハ各部ノ事務ヲ分掌ス

六 書記ハ庶務及會計ニ従事ス

第七條 部長及委員ノ任期ハ一ケ年トシ毎學年ノ始メニ於テ改選スルモノトス

但シ會務上必要アルトキ會長ハ臨時委員ヲ囑託スルコトアルヘシ

第八條 役員任期中缺員ヲ生シタル場合ハ之ヲ補缺ス

但シ其任期ハ前任者ノ任期ニ依ル

第九條 本會ニ關スル事件ハ總テ委員ノ決議ニ依リ之ヲ定ム

但シ議件ハ豫メ通告ス

第十條 委員會ハ役員全部ヲ以テ組織シ會長之ヲ招集シ之カ議長トナル

但シ總員ノ半數以上出席スルニアラサレハ之ヲ開クコトヲ得ス

議事ニ關シ必要アルトキハ議長ハ説明者トシテ他ノ役員ヲ出席セシムルコトヲ得

委員會ニ於ケル總テノ議事ハ出席會員ノ過半數ヲ以テ決シ可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第十一條 本會ハ會費及寄附金ヲ以テ之ヲ維持ス本校職員ハ〔各名譽會員ハ會費トシテ〕相當ノ金額ヲ寄附ス

ヘキモノトス本校卒業生タル特別會員ハ本校基金トシテ金五圓ヲ寄附スル義務アルモノト

ス正會員ハ會費トシテ一年金拾圓ヲ納ムヘシ

但シ之ヲ二期ニ分チ授業料ト同時ニ納附スヘキモノトス

第十二條 新ニ入會スルモノハ入會料トシテ金五圓ヲ納ムルモノトス

第十三條 本會ノ會計年度ハ學年ニ依リ毎年度ノ始メ委員會ニ於テ本會ノ豫算ヲ議定ス毎年度ノ收

支決算ハ次年度ノ始メニ於テ雜誌ヲ以テ報告ス

本會財産ノ保管ハ會長ニ一任ス

第十四條 本會ハ毎年一回總會(春季)及運動會(秋季)ヲ開クモノトス

但シ隨時運動部會ヲ開クコトアルヘシ

第十五條 本會各部重要ナル議事及本會々則ノ變更ハ役員三分ノ二以上ノ協賛ヲ經テ決スルモノト

ス

第十六條 本會細則ハ役員ノ決議ヲ以テ別ニ之ヲ定ム

第一號書式

(用紙ハ學校ヨリ交付ス)

入學願書		受驗	語學	現住	受驗資格	取得年月日及場所	中學卒業後修學歷	賞罰	私儀御校 度此段奉願候也
原籍	府市町	縣郡村	大字	番地	姓名	年 年 年 月 月 月	學 校 卒 業 ニ於テ試驗檢定ニ合格 中學卒業ノ見込	日本醫學專門學校長 殿	日本醫學專門學校長 殿
氏名ノ右側ニ片假名ヲ附スヘシ		生年月日		年 月 日				ハ入學志願ニ付御檢定ノ上入學許可被成下 度此段奉願候也	

第二號書式用

在學證書

(用紙ハ學校ヨリ交付ス)

私儀御校ニ入學許可相成候ニ付テハ御校々則堅ク相守リ可申萬一違背候節ハ何等ノ御處分相成候  
トモ決シテ異議申間敷候也

原籍 府縣郡市町村番地(寄留ノモノハ寄留所)  
族籍職業 戶主トノ關係

前記某在學中ニ係ハル一切ノ事件ハ拙者共ニ於テ引受可申候也

原籍 府縣郡市町村番地  
族籍職業

保 證 人 氏 年 月 日 名 印

保 證 人 氏 年 月 日 名 印

保 證 人 氏 年 月 日 名 印

日本醫學專門學校長 殿

年 月 日

## 日本醫學士會々則

### 第一章 名稱及位置

第一條 本會ヲ日本醫學士會トス

第二條 本會ハ事務所ヲ日本醫學專門學校内ニ置ク

### 第二章 會 員

第三條 本會々員ハ名譽會員及正會員トス

一 日本醫學專門學校理事教授ハ名譽會員トス尙特別ニ本會及本校ニ對シテ功勞アルノ士ハ會長ヨリ名譽會員トシテ推薦スルコトアル可シ

第三條 (二) 正會員ハ日本醫學專門學校卒業生ヲ以テシ毎年本校ノ卒業生ハ正會員タルノ義務ヲ有ス

### 第三章 目 的

第四條 本會ノ目的ハ專ラ會員相互ノ智德ヲ啓發シ和衷ヲ旨トシ極力母校ノ向上ヲ後援シ醫學上

ニ思想上ニ研鑽練磨以テ國家社會ノ安寧幸福ヲ増進セントスルニアリ

### 第四章 役員及職責

第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一 會長 一名 日本醫學專門學校々長

二 顧問若干名 日本醫學專門學校理事

名譽會員中ヨリ總會ノ決議ヲ經テ顧問ニ推戴スル事有ル可シ

三 幹 事 正會員中ヨリ總會ニ於テ互選ス、幹事ノ任期ハ一ケ年トシ缺員アル時ハ會長補缺任命ヲ爲スコトヲ得此場合任期ハ前者ノ殘リトス幹事ノ再選ハ妨ケナシ顧問ハ重要事務ノ諮問ニ應ズ幹事ハ萬般ノ會務ヲ處辨スルモノトス

### 第五章 會費及會計

第六條 日本醫學專門學校卒業生ハ最初ニ本會正會員タルヘキ時金壹百圓ヲ齎出スルモノトス

納 附 期 日 卒業證書授與式前日迄

納附場所 日本醫學專門學校會計課

本金額ハ母校ノ向上發展ニ資スル一助トシテ金額ヲ本校理事者ニ提供スルモノトス

第七條 正會員ハ俸會費トシテ金五圓也ヲ所定ノ期日迄ニ納ムルモノトス

第八條 金錢出納ハ日本醫學專門學校會計課ニ於テ取扱會計事項ハ會報ニ於テ發表ス

第六章 集金及事業

第九條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク

第十條 本會ハ會報トシテ日本醫學士會報ヲ毎年一回發行シ會員ニ頒布ス

第十一條 本會ニハ會員名簿ヲ設置ス

臨時名簿ヲ發行頒布スル事アル可シ

第七章 附則

第十二條 會員ハ住所其他ノ移動アリタル時ハ必ず届ケ出ヅルモノトス

第十三條 本會員ニシテ本會ノ名譽ヲ汚損シタル者ハ總會ノ決議ニヨリ本會ヨリ除名スル事アル可

シ

第十四條 本會々則ノ改正ハ總會ニ於テ出席者ノ三分ノ二以上ニテ議決スルモノトス其他ノ重要案件ハ又總會ノ決議ニヨツテ行フ

校旗規程

一 校旗ハ學校ノ秩序ト名譽トヲ代表ス

二 校旗ヲ出ス場合ハ學校長之ヲ布達ス

三 校旗ヲ捧持スルタメ學生中ニ旗手、副旗手ヲ置キ其任期ヲ一年トス

四 旗手、副旗手ハ每學年ノ初メニ於テ學校長之ヲ命ス

五 本校職員學生ハ校旗ニ對シテハ相當ノ敬意ヲ表シ校旗ノ式場出入ノ際ハ名自起立、敬禮スルモノトス

六 校旗ヲ捧持スルニハ旗斂ヲ右股ニ當テ右肘ヲ後ロニシ其拳ヲ肩ノ高サニシ旗頭ヲ僅ニ前方ニ傾カシム

七 敬禮ノ爲メニハ旗手ノ右手ヲ旗竿ニ沿ヘテ眼ノ高サニ上ケ旗斂ヲ右股ヨリ離スコトナク右手ヲ十分ニ前ニ伸ハシ旗ヲ垂ル

## 材料検査

第一條 本校附屬醫院内ニ特別研究室ヲ設ケ、専ラ臨床醫家ノ便宜ヲ旨トシ、病理組織學的、病原學的、血清學的及醫化學的諸種ノ材料検査ヲ行フ

第二條 依頼者ハ供試品ニ住所氏名及參考記録ヲ添附スベシ

第三條 材料検査ニ關スル諸費ハ實費トシテ左ノ定率ニ依リ料金ヲ前納スベシ

### 検査項目

臨床診斷上ノ細菌學的、血清學的並ニ組織學的検査

- 一、ワツセルマン氏反應検査 二、〇〇
- 一、グイダール氏反應検査 一、〇〇
- 一、組織學的検査 一、〇〇以上
- 一、腦脊髓液ノ細菌學的並ニ組織的検査 一、〇〇
- 一、口腔義膜ノ鏡檢 一、〇〇

- 一、咯痰検査(結核菌、肺炎菌其他) 一、〇〇
  - 一、尿ノ細菌學的並ニ組織學的検査 一、〇〇
  - 一、潰瘍並ニ硬結壓搾液ノ細菌學的検査 一、〇〇
  - 一、寄生蟲卵ノ檢索(檢便) 五〇
  - 一、培養試驗ヲ要スルモノ(口腔義膜、尿便、血液等) 三、〇〇
  - 一、動物試驗ヲ要スルモノ 五、〇〇以上
- 第四條 以上ノ検査ハ每週火木土(自午前八時)ニ行フヲ以テ檢料物ハ每週月水金ノ午後八時迄ニ本校附屬醫院内科研究室宛ニ送附セラレベシ
- 第五條 検査ノ成績ハ可成迅速ニ左ノ葉書ヲ以テ報告ス(特ニ急ヲ要スルモノハ其ノ旨並ニ電話番號ヲ添附シテ申込マルベシ)但シ培養試驗動物試驗ヲ要スルモノハ其ノ難易ニ應ジテ多少ノ時日ヲ要スベシ

## 検査成績報告

備	成績判定	検査日時	検査物ノ種類及検査ノ目的	患者姓名又ハ記號番號	検査物受附日
考					

右及御報告候也

大正 年 月 日 東京市本郷區駒込千駄木町五九

日本醫學專門學校附屬醫院

細菌血清検査室

検査主任印

電話小石川(三八〇〇七番)

會計課規程

- 第一條 會計事務ハ各所屬主任者監督ノ下ニ職員之カ分掌整理ノ責ニ任ス  
各主任ハ隔意ナク意見ヲ交換シ協力以テ會計ノ成果ヲ舉グルコトニ努力スヘシ
- 第二條 主任ハ各分擔事務ノ計畫及實行ノ主働者トナリ特ニ地方物資ノ狀況及一般經濟。會ノ狀況ヲ詳ニシ校用器具材料ノ調達ヲ最モ有利ニ導クコトニ努ムヘシ
- 第三條 物品ノ購求修理其他一般請求ニ關シテハ總テ相當ノ期間ヲ付シ所屬主任者ノ檢印ヲ受ケ理事ノ承認ヲ經タル請求傳票ヲ會計主任ニ差出スモノトス
- 第四條 物件ノ處分及貸借請負其他委任等ニ關シテハ理事ノ指揮命令ニ從ヒ會計主任之ヲ處理ス
- 第五條 各所屬保管ニ係ル器具器械備品ヲ破毀汚損或ハ遺失シタルトキハ主任者之カ理由ヲ調査シ辨償ニ關スル意見ヲ附シ會計主任ニ差出シ會計主任ハ理事ノ裁決ヲ受ケ之カ處理ヲナスヘシ
- 第六條 金錢物品ノ監守及取扱ニ關シ左ノ通り責任者ヲ置ク

區	金	櫃	責任者	會計主任
器具機械材料			所屬主任	

第七條 火災其他非常ノ際ハ總テ各係員舉テ應急ノ處理ヲナスヘシ  
但シ時ニ當リ係員不在ノ時ハ宿直員之カ處理ニ任ス

### 物品會計規程

- 一、會計主任ハ物品出納簿ヲ備ヘ物品出納ニ關スル事項ヲ記載スヘシ
- 二、物品ノ出納ハ傳票領收證書ニ依リ之ヲナスヘシ
- 三、物品中各自專用ノモノハ其使用者、校舍備附ノ器具機械藥品圖書等ハ其所屬部ニ於テ規程第六條ニヨリ主任之カ保管ニ任ス
- 四、物品ノ検査ハ毎年<sup>(三月七月)</sup>授業終了後會計主任立合ノ上之ヲ行フモノトス
- 五、各保管物品ノ備附受領又ハ修理交換ヲ要スル場合ハ總テ規程第三條第四條ニ準シ之ヲ爲ス使用ニ堪ヘサルモノ又所要ノ目的ナキモノ又同シ
- 六、物品ヲ保管轉換セントスル時ハ關係各主任ノ許可ヲ受ケ理事承認ノ上之ヲ執行スヘシ
- 七、主任ハ物品臺帳ヲ作成シ常ニ之カ整理ニ就テハ其責ニ任ス

### 火災警備規定

- 第一條 火災警備ハ本規程ニ依ルヲ要ス
- 第二條 教務主任ハ警備長トシ火災警備ニ關スル一切ノ事ニ付監理スルモノトス
- 第三條 各課ノ助手書記ハ警備掛トシ警備長ノ指揮ニ依リ火災警備ノ任ニ當ルモノトス各課ノ備人ハ助手書記ノ指揮ニ依リ火災警備ノ勤務ニ服スヘシ
- 第四條 警備長及警備掛員ハ時々校内ヲ巡視シ火氣取締上遺洩ナキヲ期スヘシ
- 第五條 執務時間外及休日ハ當直員ニ於テ校内全部ヲ警戒シ夜間ハ備人ヲシテ時々校内ヲ巡視セシムヘシ  
但シ烈風ノトキハ特ニ巡視ノ度數ヲ増シ一層ノ注意警戒ニ努ムヘシ
- 第六條 警備掛ノ特ニ注意スヘキ概目左ノ如シ
  - 1 暖爐煙筒火鉢小使室ノ爐邊其他總テ火氣アル個所
  - 2 實驗室研究室其他酒精灯及石油其他點火シ易キ物質ヲ使用シ若クハ貯藏スル場所
  - 3 瓦斯裝置アル個所ハ漏氣ノ有無



- 4 マツチノ燃殻煙草ノ吸殻等ハ火氣ノ有無
- 5 蠟燭ヲ使用シタル場合ニ於テ消灯ノ有無
- 6 煙突ニ煤煙ノ滯積有無

第七條 職員及警備掛員ハ火災當時ニ於テ本校出入便宜ノ爲メ豫テ雛形ノ章票ヲ交付シ置クニ付常ニ之ヲ携帯スヘシ

第八條 本校出火若クハ近火ノ場合ハ警備掛員其他職員ハ速ニ出校シ左ノ手配ニ依リ専心警防ニ努カスヘシ

- 1 當直員ハ校長又ハ警備長ニ電話報告ヲナシ鎮火シタルトキ又同シ
- 2 物品搬出ハ火元最寄ノ場所ヨリ初メ書類及貴重機械類ヲ先ニシ次ニ其他ノ器具雜品ニ及フヘシ
- 3 搬出シタル物品ハ嚴重ニ監視スヘシ
- 4 正門協便宜ノ場所ニ臨時受附ヲ開始シ見舞人ノ氏名ヲ記録スヘシ
- 5 警備掛員職員生徒消防手警察官吏官衙學校病院ノ職員出入ノ職工及商人ノ外一切門内ニ立入ルコトヲ禁シ一面其混雜ヲ防キテ消防上ノ行動ヲ自由ナラシメ尙ホ盜難ヲ警戒スヘシ

6 夜間ニ在リテハ門戸建物入口其他適當ノ場所ニ點燈スヘシ

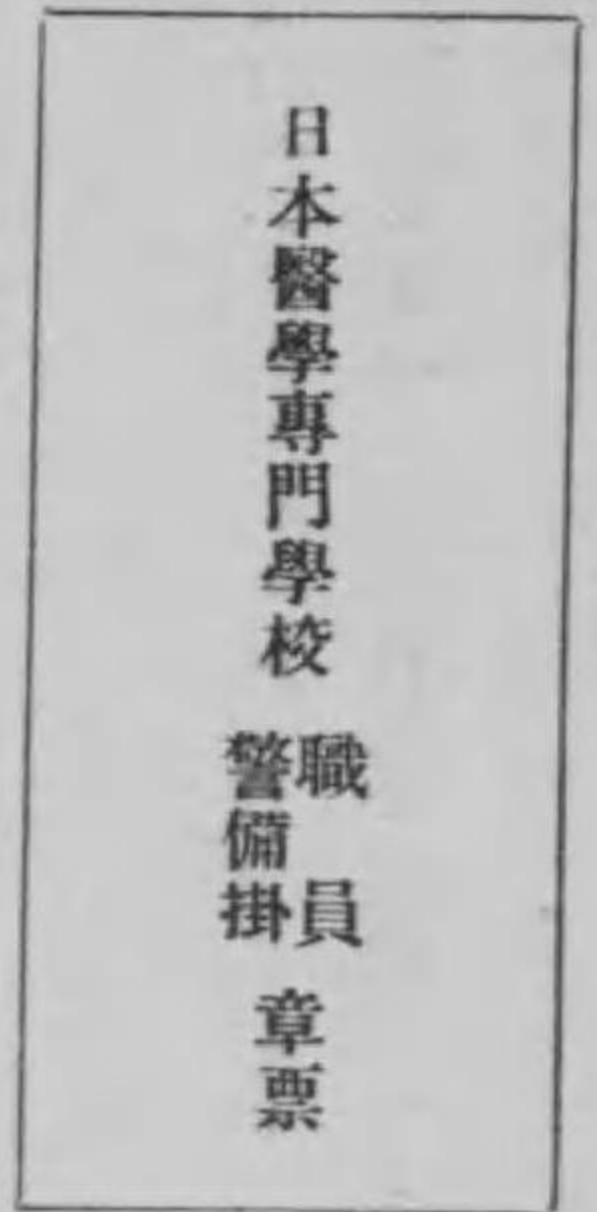
第九條 本校及附屬醫院出火又ハ近火等其他非常ノ場合ハ職員及學生(制服着用)速カニ駆付ケ警備長又ハ先着職員ノ指圖ニ從ヒ警防ニ助力スヘシ

第十條 非常危急ノ場合ニ於テハ當事者ハ臨機ノ處置ヲナシ後テ各理事ニ報告スヘシ

厚紙 長二寸五分

裏面

章票  
雛形



巾 九 分

火災當時出校スル場合ニ於テ警察官吏又ハ門衛ニ於テ入校ヲ拒ミタルトキハ此章票ヲ示シテ入校スヘシ

宿直

- 一、宿直ハ校内取締ニ任シ就務時間外ニ係ハル一切ノ事ヲ取扱フ可シ
- 二、宿直ハ午前八時ニ始マリ翌日午前八時ニ交代スルモノト
- 三、宿直ハ本校職員一名小使一名ヲ以テ之ヲ服セシム

- 四、宿直ニ服スルモノハ校内ニ宿泊スルモノトス
- 五、宿直交代ノ際ハ上番者ハ下番者ヨリ所要ノ申送ヲ受クヘシ
- 六、宿直中ニ生シタル事件ハ緩急輕重ヲ考量處理シ其旨ヲ翌日關係理事又ハ當事者ニ申告スヘシ  
但シ宿直中臨機處理シ難キ重大ノ事件アル時ハ電話其他ノ方法ニテ指示ヲ乞フ可シ
- 七、宿直ハ時々校舎内外ヲ巡視シ内外ノ清潔及備付物品ノ保管並ニ盜難特ニ火元ノ取締ニ誠意注意スヘシ
- 八、非常ノ場合ニハ取締其他ニ關シ機宜ノ處置ニ任シ萬違策ナキヲ期ス可シ
- 九、服務中ノ事件ハスベテ宿直日誌ニ記載ス可シ

門 衛

- 一、門衛ハ本校出入者ヲ嚴重ニ監視シ授業時間ヲ確實ニ振鈴スルモノトス其服務時間及ヒ勤務左ノ如シ
- 二、服務時間授業開始前三十分ヨリ授業終了後三十分迄トス
- 三、勤務、本校職員校門出入ノ時ハ起立シテ禮ヲナスヘシ

來校者ニ對シテ尤モ懇切ヲ旨トシテ丁寧親切ナルヘシ  
制服ヲ着スル學生以外ノ者ニ對シテハ事務室ニ關スル用務アルモノハ事務室ニ  
學生ニ關スル面會人ハ面會簿ニ記入セシメ教務課ニ出ス事

●職

員 (大正十一年四月現在)

學校長	醫學博士 中原德太郎 (京都)
監	法學士 近藤達兒 (福島)
修身教授 (豫科)	文學士 千輪浩 (東京)
國語漢文	文學士 竹内松治 (福島)
物理、化學	子爵 醫學士 米倉昌達 (東京)
動物植物	醫學博士 福士政一 (山口)
數學	丸茂 猛 (東京)
語學	近藤 壯平 (福島)
體操	フリッツ スクリッパ (獨逸)
修身教授 (本科)	鹽見 磯吉 (東京)
文學士	千輪 浩 (東京)

獨逸語	近藤 壯平 (福島)
獨遠語	フリッツ スクリッパ (獨逸)
化學	米倉 昌達 (東京)
解剖學	醫學博士 子爵 醫學士 學生監 二村 領次郎 (東京)
解剖學、外科學	醫學士 池田 孝男 (千葉)
生理學	(歐米留學中) 醫學士 森 於 菟 (東京)
醫化學	醫學士 真島 典二 (新潟)
同化學	醫學士 河本 禎助 (兵庫)
衛生學	醫學士 藤井 暢三 (山口)
衛生學、細菌學	醫學士 古瀬 安俊 (佐賀)
病理學	醫學士 丸茂 猛 (東京)
病理學	醫學博士 醫學士 學生監 福士 政一 (山口)
藥物學	醫學士 長澤 米藏 (埼玉)
藥理學	醫學士 後藤 直岐 (阜)

小兒科	醫學博士	田中幸一	(東京)
內科	醫學博士	二木謙三	(秋田)
內科	醫學博士	南大	曹(福島)
內科	醫學博士	碓居龍太	(京都)
內科	醫學博士	西川義方	(和歌山)
內科	醫學博士	八田善之進	(福井)
內科	醫學士	國崎政治	(福島)
內科	醫學士	奧川純二	(熊本)
小兒科	醫學士	小杉文吉	(新潟)
外科	醫學博士	中原德太郎	(京都)
外科	醫學博士	鹽田廣重	(京都)
外科	醫學士	平賀精次郎	(東京)
外科	醫學士	岩島寸三	(兵庫)
外科	醫學士	大槻菊男	(宮城)

外科	醫學博士	井上重喜	(高知)
產婦人科	醫學博士	今井環	(東京)
皮膚科	醫學士	椿誠一	(島根)
眼科	醫學士	高橋直	(東京)
眼科	醫學士	保利定直	(東京)
耳鼻喉科	醫學士	坂原愛治	(長野)
耳鼻喉科	醫學士	桑名龍太郎	(静岡)
耳鼻喉科	醫學士	宇田清	(福島)
精神病学	醫學士	齋藤玉男	(群馬)
法醫學	醫學士	宮永學而	(福井)
體操	學生監	鹽見磯吉	(東京)
解剖學	醫學士	高橋修	(廣島)
同	日本醫學專門學校	石橋文次郎	(青森)

職員

課主	課主	主	同	同	同	課主
員任	員任	任				員任
	圖書課	會計課	庶務課			學生課
日本醫學專門學校	(庶務課兼務) (庶務課教務課兼務)	(庶務課兼務) (教務課學生課兼務)				醫學博士 子爵醫學士
醫學士	書記	書記				藥學士
若林東一	高橋紋藏(茨城)	三浦五郎(東京)				二村領次郎(東京)
若林東一(新潟)						米倉昌達(東京)
						小林賢次郎(愛知)
						小林光信(愛知)
						鬼頭正一(東京)
						鹽見磯吉(東京)

同	同	同	課主	化	醫	衛生	藥	生	病	同
			員任	學	學	細菌學	物學	理學	理學	
			助手							
			務課							
			(學生課兼務)醫學博士							
			日本醫學專門學校							
			醫學士							
			同							
			同							
			(學生課兼務)							
			書記							
			村松千代平(靜岡)							
			田島敏行(大分)							
			若林東一(新潟)							
			種市良貞(青森)							
			福士政一(山口)							
			高瀨俊一(三重)							
			田島敏行(大分)							
			細井吉雄(東京)							
			種市良貞(青森)							
			若林東一(新潟)							
			日本醫學專門學校							
			醫學士							
			廣瀨正名(山梨)							
			大村清二(兵庫)							
			菅谷盛一(茨城)							

柔道部  
劍道部

囑託教師

國瀨幸造(岡山)  
檜山義質(東京)

日本醫學專門學校附屬醫院職員 (大正十一年四月現在)

院長	教授 醫學博士 醫學士	西川 義方(和歌山)
內科、內科部長	同 醫學博士 醫學士	西川 義方(和歌山)
內科、內科醫長	同 醫學士	國崎 政治(福島)
內科、醫員	日本醫學專門學校 醫學士	澤 慶一(静岡)
內科、同	同	高木 秀延(富山)
小兒科、小兒科部長	教授 醫學士	田中 幸一(東京)
同 醫員	日本醫學專門學校 醫學士	鶴井 留彌(愛媛)
外科、外科部長	教授 醫學士	平賀 精次郎(東京)
外科、醫員	日本醫學專門學校 醫學士	岩崎 彦四郎(群馬)

同	同	平田 源次郎(群馬)
婦人科、産科部長	教授 醫學士	椿 稔(山口)
同 醫員	日本醫學專門學校 醫學士	村田 壯(山口)
眼科、眼科部長	教授 醫學士	保利 定直(東京)
同 醫員	日本醫學專門學校 醫學士	水野 昌喜(熊本)
耳鼻咽喉科、耳鼻咽喉科部長	教授 醫學士	宇田 清(福島)
皮膚科、皮膚科部長	同 醫學士	高橋 誠一(島根)
藥局 監督	教授 子爵 藥學士 醫學士	米倉 昌達(東京)
調劑員	同 藥劑師	福富 義雄(高知)
同	同	岸 本 薫(廣島)
事務長	同	鳥居 甚太郎(東京)
事務員	同	堀江 菊枝(東京)
同	同	井上 あさ(東京)
看護婦長	同	泉田 ヤス(長野)

看護婦寄宿舎々監

評議員 (イロハ順)

平島喜代(福島)

八〇

維持員理事

關	宮	佐	荒	丸	上	中	棚	高	早
幸	本	藤	川	山	野	原	橋	島	川
太		三	五	名		德	一	平	千
郎	仲	吉	郎	政	清	郎	郎	郎	郎

ドクトル メヂチーネ

小此木信六郎

理事 同 同 同 同 同 願 副 會 同 同 同 同 同 副  
事 事 事 事 事 問 會 會 會 會 會 會  
長 長 長 長 長 問 長 長 長 長 長 長

校友會役員

(校長)	(學監)	(教務顧問)	理事長	校長	教務顧問	理事	理事	學監
醫學博士	法學士	醫學博士	ドクトル	メヂチーネ	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士
中原德太郎	近藤達兒	鹽田廣重	小此木信六郎	中原德太郎	鹽田廣重	林春雄	平山金藏	近藤達兒

八一

學術部長  
同 運動部長

醫學博士 二村領次郎  
醫學士 小杉文吉  
醫學士 河本禎助  
醫學博士 田中幸一

常任委員ハ學生ノ部ニ表示シアリ

職員異動

(擔任學科)	(就職年月)	(退職年月)	(職名)	(學位稱號)	(氏名)
生理學	大正元年九月	大正三年四月	校長	醫學士	山根正次
物理學	同 五年十二月	同 七年四月	同校	同	磯部檢藏
化學	大正元年九月	大正五年五月	學監	同	永井潛
解剖學	同	同	教授	醫學博士	藤教篤
			同	醫學博士	竹崎季薰
			同	藥學士	曲淵景章

獨逸語	同	同	同	文學士	吉武真貴
修身	同	同	同	同	永峰秀樹
體操	同	同	同	同	川崎順
解剖學	同	同	同	同	江口朝男
修身	同	同	同	同	香山明
生理學、醫化學	同	同	同	同	高島平三郎
獨逸語	同	同	同	同	櫻木清耳
外科學	同	同	同	同	五十嵐貞
診斷學	同	同	同	同	醫學博士 頼宮寛
藥物學小兒科學	同	同	同	同	醫學博士 青柳登一
生理學	同	同	同	同	醫學博士 清水茂松
內科學	同	同	同	同	醫學博士 天谷千松
同	同	同	同	同	同 額田重
同	同	同	同	同	醫學士 武居重厚



外科學	同	六月	同	四年十二月	同	醫學士井上勝造
內科學、藥物學	同	大正四年六月	同	八年十二月	同	醫學博士上村直親
獨逸語	同	四年九月	同	五年九月	同	文學士畑一枝
法醫學	同	九月	同	六年十月	同	醫學博士石川哲郎
精神病學	同		同	五年九月	同	醫學博士三宅鑛一
產科學婦人科學	同		同	六年六月	同	醫學博士明城彌三吉
細菌學、衛生學	同		同		同	押田德郎
內科學	同		同	五年九月	同	醫學士池上作二
外科學	同	大正四年十二月	同	大正六年五月	同	醫學博士前田友助
病理學	同	五年四月	同	五年九月	同	醫學博士緒方知三郎
修身	同	五月	同	六年二月	同	監 榎田三郎
皮膚病學	同	十一月	同	八年十一月	同	授文學士增田惟茂
內科學	同	六年四月	同	七年一月	同	醫學博士中川清
內科學	同		同	五月	同	醫學士桑山龜雄

外科學	同		同	八年十一月	同	醫學博士茂木藏之助
內科學	同		同	五月	同	醫學博士勝沿精藏
眼科學	同		同		同	醫學博士小川劔三郎
皮膚病學	同		同	六年四月	同	醫學士佐藤邦雄
產科學	同		同	七年一月	同	同 山本惠三
婦人科	同		同	五年十月	同	同 高楠 榮
獨逸語	同	大正三年五月	同	六年八月	同	文學士椎名十三
獨逸語	同	大正三年九月	同	四年八月	同	授文學士小野澤百八
體操	同		同	五年十月	同	山內清藏
外科學	同	十二月	同	四年六月	同	醫學博士關口蕃樹
同	同		同	六月	同	醫學博士土井保一
解剖學	同	四年一月	同	四年四月	同	同 工藤喬三
獨逸語	同	四月	同	五年十二月	同	文學士犬塚一郎
解剖學	同		同	六年十一月	同	原





小兒科學	修身學	內科	獨逸語	同	內科	藥物學	醫化學	外科	國語漢文
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
十二月			九年九月		十年四月	十年十月	十年一月	十年四月	
醫學博士 田中年一	文學士 千輪浩	醫學博士 八田善之進	近藤壯平	フリッツスクリツバ	醫學士 國崎政治	同	同	同	同

卒業生

現職及勤務所

**第一回ノ一**  
(大正五年七月卒業)  
**十七名**

卒業生 (いろは順)

開業	開業	開業	開業	開業	東京浦内科大	開業	開業	開業	開業	東大	外大	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業
福島	山田	草野	瓜生	染井	瀧田	影本	岡崎	花村	林堅									
辰三郎	逸爾	林太郎	正雄	太郎	大郎	速男	勝一	泉長	藏岐									
千業	廣島	福島	福井	千葉	東京	岡山	愛知	長野	岐阜									

---

北海道

**第一回ノ二**  
(大正五年十一月卒業)  
**十三名**

卒業生 (いろは順)

開業	開業	北海道	開業	開業	大正八年十二月	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業
松本	野尻	中川	渡邊	鈴木	奥川	杉本	關君	關君	青景	小久保									
兼吉	滋吉	義次	徹山	善道	謙三	清治	平千	基士	常太郎	請崎									
栴木	奈良	富山	山梨	茨城	佐賀	東京	千葉	島	廣島	玉									

九一



歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	開	開	開	開	開	開	開	開
國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	業	業	業	業	業	業	業	業
ラ	モ	ダ	グ	ウ	ン	ク	エ	レ	ン	ネ	ー	シ	望	金	藤	池	河	森	清	宮
ウ	ン	ク	エ	レ	ン	ク	エ	レ	ン	ネ	ー	シ	月	成	牧	田	野	田	水	本
ル	ロ	オ	ヤ	ル	ロ	オ	ヤ	ル	ロ	オ	ヤ	陽	忠	支	雄	清	士	豐	元	卓
フィン	フィン	フィン	フィン	フィン	フィン	フィン	フィン	フィン	フィン	フィン	フィン	廣	福	支	士	福	大	廣	長	長
リック	リック	リック	リック	リック	リック	リック	リック	リック	リック	リック	リック	島	島	那	奈	岡	分	島	野	野

聽講生(十名)

歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	開	開	開	開	開	開	開	開
國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	業	業	業	業	業	業	業	業
グ	オ	フ	星	山	鈴	松	星	山	鈴	松	星	山	グ	カ	レ	ロ	グ	カ	レ	ロ
イ	カ	エル	野	崎	木	久	孝	孝	光	保	保	野	チ	ラン	エ	サ	チ	バ	エ	サ
リ	カ	ナン	孝	孝	光	保	孝	孝	光	保	保	野	エン	バ	ス	レ	エン	カ	エ	レ
ヤ	カ	デ	孝	孝	光	保	孝	孝	光	保	保	野	ス	カル	ス	レ	ス	カ	エ	レ
ポ	カ	ス	孝	孝	光	保	孝	孝	光	保	保	野	ス	ル	ス	レ	ス	カ	エ	レ
ンド	カ	ス	孝	孝	光	保	孝	孝	光	保	保	野	ス	ル	ス	レ	ス	カ	エ	レ
フィン	フィン	フィン	フィン	フィン	フィン	フィン	フィン	フィン	フィン	フィン	フィン	フィン	フィン	フィン	フィン	フィン	フィン	フィン	フィン	フィン
リック	リック	リック	リック	リック	リック	リック	リック	リック	リック	リック	リック	リック	リック	リック	リック	リック	リック	リック	リック	リック

第四回(大正八年七月卒業)十五名(内聽講生十四名)

歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	開	開	開	開	開	開	開
國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	業	業	業	業	業	業	業
ア	ニ	オ	ベ	オ	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	熊	會	席	グ	リ	襲	オ	ベ
ニ	オ	ベ	オ	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	熊	會	席	グ	リ	襲	オ	ベ	
オ	ベ	オ	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	熊	會	席	グ	リ	襲	オ	ベ		
ベ	オ	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	熊	會	席	グ	リ	襲	オ	ベ			
ン	ン	ン	ン	ン	熊	會	席	グ	リ	襲	オ	ベ								
ン	熊	會	席	グ	リ	襲	オ	ベ												
熊	會	席	グ	リ	襲	オ	ベ													
會	席	グ	リ	襲	オ	ベ														
席	グ	リ	襲	オ	ベ															
グ	リ	襲	オ	ベ																
リ	襲	オ	ベ																	
襲	オ	ベ																		
オ	ベ																			
ベ																				

第五回(大正八年十二月卒業)三十三名(内聽講生二名)

開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開	開							
業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業							
草	永	辻	高	柿	加	金	鎌	加	和	大	岡	小	星	草	永	辻	高	柿	加	金	鎌	加	和	大	岡	小	星
野	峰	常	山	平	納	成	谷	賀	田	森	田	澤	堃	野	峰	常	山	平	納	成	谷	賀	田	森	田	澤	堃
道	雄	治	雅	正	篤	忠	國	茂	敬	良	一	清	孝	道	雄	治	雅	正	篤	忠	國	茂	敬	良	一	清	孝
平	介	治	雅	正	篤	忠	國	茂	敬	良	一	清	孝	平	介	治	雅	正	篤	忠	國	茂	敬	良	一	清	孝
福	東	石	千	和	美	義	男	岡	士	秋	士	東	京	福	東	石	千	和	美	義	男	岡	士	秋	士	東	京
島	京	川	葉	山	島	島	取	山	京	田	本	京	京	島	京	川	葉	山	島	島	取	山	京	田	本	京	京



大朝 邱鮮 慈大 惠邱 醫院府	開業	開業	開業	開業	開業	樂東 山堂 醫院京	警視 廳醫	一年志願入營中	辻東 岡病 院京	岩東 島病 院京	附日 屬本 醫醫 院專		
山田	久保田	桑原謙	熊坂癸巳七郎	熊谷親長	宇治木三郎	宇野虎雄	氏家直記	村上勉	村上德市	永井忠尙	內藤英雄	長門哲次	鶴井留彌
隆宮城	謙福島	一新湯	宮城	鹿兒島	廣島	福岡	岩手	東京	島根	茨城	東京	長崎	愛媛
鄉里開業	東山堂醫院京	古德川島病	防濱疫務官部	京原外科醫局	附東京帝國大學	醫大科大學	高橋病院京	開業	開業	高橋病院京	病高橋市綿貫	松本病院府	朝鮮大邱府
齋藤長太郎	櫻井能光	粟屋謹一	會見忠治	淺葉知義	小中多計志	小田鐵次郎	甲田鐵次郎	增田益雄	丸木清崎	松浦勝道	松井眞澄	山本眞良	山田良宮
福島	城	山口	取	葉	庫	野	本	川	玉	根	野	取	城

谷東 草京 場日 醫院比	開業	披濱會動務員小河改	附日 屬本 醫醫 院專	浦和監獄醫	開業	入第十四聯隊中隊	關東病院王子	函館病院	病東京須田	日本醫專助手	一年志願入營中	研究	傳專病研究所
和田俊夫	岡崎繁信	若林己三郎	小山邦夫	岡本隆成	大口眞純	律野勘一	道津幸雄	富田自章	德岡一二	細井吉雄	西川東洋	原口德壽	原敏夫
木	阪	玉	手	和歌山	阜	崎	崎	葉	崎	野	重	崎	城
林福井縣武生町	東京樂山堂病院	橫山縣浦和町	一年志願入營中	在京研究中	一步兵第四聯隊	井上醫院市	開業	樂山堂病院京	開業	北生堂海病院道	兩館湯川	藤川病院長	高崎綿貫
田上利正	田邊家橘	田中勝藏	高槻忠嗣	武田三雄	太宰多計司	吉田芳信	吉田春秋	河井壽雄	川西憲平	柿栖術千	荻部進一	勝田功夫	茅島操
山	知	玉	島	京	島	良	知	城	島	葉	島	島	木



東京慈善病院 研究	一年志願入營中	兵歩第五十八聯隊 正勤務	開業	助日本勤務	病院勤務	慶應大學	自宅ニ研究中	東岸病院勤務	東岸病院勤務	隊入營中	歩兵第五十九聯隊	横須賀海兵團 少尉	静岡縣本目醫員	水戸常盤病院	神奈川縣検査 勤務	開業
加藤正尚高知	綿貫秀雄	渡邊綠新	和田進	若林東一郎	沖倉沖太郎	大角勉	大久保貢	大平貞治	大竹貢	太田齊	大田實	大田實	千葉庄三	土井順也		
附日屬本醫院	下茨城病院	助日本勤務	治川島造船所	助日本勤務	横濱	開業	開業	開業	東京研究中	立玉縣北葛飾郡 立津醫院内	東京帝大分院 外科勤務	防疫視察	一年志願入營中			
高木秀延富山	武村久太郎	高岡春海	種市良貞	橘修	竹中	田原茂	多田寛	吉野義雄	川越貞房	川島武	影本桂郎	金瀧廣太				

山形病院	東京醫學中	駿河臺病院	神本病院	近藤外科	東京大學	三井病院	東井病院	兵庫縣南川病院	開業	開業	附日本醫院	東京長澤醫院	開業	樂山堂病院	東京南病院
鈴木木熊雄山形	鈴木木次郎	鈴木篤真	鈴木影司	森脇千市	江口勝四郎	清水清山	柴田卓而	島田朗富	白崎次雄	南實三	池田進二	喜多秀雄	木村喜八		
渡邊病院勤務	慶應大學病院	高崎醫院	郷里開業	軍一年志願	三井病院研究中	小野病院勤務	東野病院勤務	歸國	歸國	歸國	歸國	歸國	歸國	歸國	歸國
外山富佐	丹羽泰哉	花岡外喜	岩崎善良	岩下繁	今野末吉	井上正義	孫宗堯	盧旭	陳懋侗	エムソン	エムソン	エムソン	エムソン	エムソン	

第七回 (大正十年) 五月卒業 八十六名

聽講生 (五名)

渡邊病院勤務	慶應大學病院	高崎醫院	郷里開業	軍一年志願	三井病院研究中	小野病院勤務	東野病院勤務	歸國	歸國	歸國	歸國	歸國	歸國	歸國
外山富佐	丹羽泰哉	花岡外喜	岩崎善良	岩下繁	今野末吉	井上正義	孫宗堯	盧旭	陳懋侗	エムソン	エムソン	エムソン	エムソン	エムソン

鹿兒島市丸病 院副院長	一年志願	開業	附日本 東京樂山堂病 院專務	開業	開業	開業	開業	東 明治病院勤 務	少 兵第五十九聯 隊一年志願	千 葉縣市川縣 醫院	傳 染病 研究	開 業	東 山縣 醫院	松 野	松 野	松 野	松 野	松 野	松 野	松 野	
田中	名越	長濱	村田	村田	野村	日下	栗本	栗本	山田	安元	摩島	馬島	野村	野村	野村	野村	野村	野村	野村	野村	野村
前常	智雄	康正	早稻	早稻	學之	陸一	邦男	浩木	次郎	親福	良造	重愛	學之	學之	學之	學之	學之	學之	學之	學之	學之
鹿兒島	本	島	口	口	島	山	京	川	石	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山
千葉縣大塚病 院	勤 十字社病 院	鄉 里病氣靜養中 勤	慶 應大學病 院	額 田病院勤 務	廣 島海軍 醫院勤	北 海道廳勤 務	開 業	大 坂商船各 醫	東 原病院勤 務	高 橋島醫 員縣	慈 善病院研 究	慈 善病院研 究	慈 善病院研 究	慈 善病院研 究	慈 善病院研 究	慈 善病院研 究	慈 善病院研 究	慈 善病院研 究	慈 善病院研 究	慈 善病院研 究	慈 善病院研 究
松井	松村	藤井	藤井	小濱	寺門	合田	青山	秋山	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	齋藤	齋藤	齋藤	齋藤	齋藤	齋藤	齋藤	齋藤	齋藤
正雄	五郎	謹次	清郎	東治	正文	肇	健祐	正一	謙三	直行	豪一	馨吾	齋藤	齋藤	齋藤	齋藤	齋藤	齋藤	齋藤	齋藤	齋藤
廣島	士長	新湯	香川	福島	茨城	北海道	福島	東京	茨城	福島	山	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島

東京片山病 院	帝大病理教 室	日本 病院專	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業	開業
佐野	木下	水野	鹽澤	遠藤	平野	平野	平野	平野	平野	平野	平野	平野	平野	平野	平野	平野	平野	平野	平野	平野	平野
甫島	一郎	昌喜	三長	男爵	三郎	三郎	三郎	三郎	三郎	三郎	三郎	三郎	三郎	三郎	三郎	三郎	三郎	三郎	三郎	三郎	三郎
井	井	本	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野
廣 濱弘濟會病 院	東 洲崎病院勤 務	東 原病院勤 務	東 原病院勤 務	東 原病院勤 務	東 原病院勤 務	東 原病院勤 務	東 原病院勤 務	東 原病院勤 務	東 原病院勤 務	東 原病院勤 務	東 原病院勤 務	東 原病院勤 務	東 原病院勤 務	東 原病院勤 務	東 原病院勤 務	東 原病院勤 務	東 原病院勤 務	東 原病院勤 務	東 原病院勤 務	東 原病院勤 務	東 原病院勤 務
角屋	鈴江	黃邦	顧南	王基	レ	梁世	王樹	鍾毓	王樹	王樹	王樹	王樹	王樹	王樹	王樹	王樹	王樹	王樹	王樹	王樹	王樹
修新	吉德	瑞支	達支	基支	ス	暄支	樅支	璞支	樅支	樅支	樅支	樅支	樅支	樅支	樅支	樅支	樅支	樅支	樅支	樅支	樅支
湯	島	那	那	那	那	那	那	那	那	那	那	那	那	那	那	那	那	那	那	那	那

卒業受驗生(八十四名)

京東 正東 朝廣 阜東 會福 藤群 對長 大愛 富富 小新 立東 郁東 一岩 高東

稻 千

北京 則京 道島 田京 津島 岡馬 馬崎 洲媛 山山 谷湯 教京 文京 關手 輪京

熊	窪	楠	黑	海	武	永	永	中	中	津	橋	高	田
見	田	木	澤	野	者	田	見	森	澤	金	橋	中	
義	義	繁	真	野	金	英	團	文	道	信	三	字	
隆	朗	一	郎	幸	司	祐	郎	哲	一	司	枝	仲	淳
兵	山	長	東	福	群	長	愛	富	新	群	福	岩	愛
庫	梨	崎	京	島	馬	崎	媛	山	湯	馬	井	手	知

廣廣 鴻山 太群 大東 立京 本秋 桃大 下榜 南東 順東 德山 鴻山 第愛 順東

陵島 城口 田馬 成京 命都 莊田 山阪 野木 工京 天京 山口 城口 二知 天京

藤	藤	正	丸	松	前	松	松	松	山	彌	山	山	國
田	田	田	山	田	岡	本	田	城	益	崎	口	屋	
春	了	政	龜	家	憲	純	朝	義	正	主	起	保	淑
見	三	雄	壽	治	一	一	好	郎	光	稅	一	年	夫
廣	山	群	東	京	富	奈	榜	愛	士	山	山	愛	兵
島	口	馬	京	都	山	良	木	媛	繩	口	口	知	庫

藤群 東岩 八青 遠岩 富群 京東 小新 獨東 飯長 和和 商東 磯富 第愛 廣廣

逸 千 協 歌歌

岡馬 北手 戶森 野手 岡馬 華京 谷湯 會京 田野 山山 工京 波山 二知 陵島

岡	音	奧	千	長	戶	登	堀	西	花	伊	伊	伊	池
野	山	秋	田	春	澤	坂	井	尾	田	澤	藤	藤	田
義	欣	義	義	德				尚	正	正			
雄	郎	康	雄	利	男	寬	博	孝	夫	敏	光	修	曉
崎	山	山	岩	群	東	新	秋	長	和	福	富	士	廣
玉	形	梨	手	馬	京	湯	田	野	山	島	山	知	島

海東 竹大 正東 獨東 東東 天熊 和和 藤德 東岐 仙宮 水茨 葦靜 獨東 東東

逸 協 歌歌 臺 海 逸 京

城京 田分 則京 會京 京京 草本 山山 町島 濃阜 二城 道城 山岡 會京 院京

田	田	竹	高	吉	梶	上	片	加	加	渡	渡	大	尾
丸	島	內	野	葉	原	西	山	地	藤	邊	邊	村	作
惠	敏	秀	俊	庄	幸	正		修	國	龜	謙	清	文
吉	行	一	一	作	雄	已	進	治	郎	治	夫	二	雄
鹿	大	山	崎	茨	熊	和	德	岐	宮	茨	靜	兵	神
兒	分	形	玉	城	本	歌	島	阜	城	城	岡	庫	奈
鳥						山							川

角宮	明愛	富德	秋秋	東愛	正東	第京	豐福	成千	野長	慶東	文奈	北愛	飯長
田城	輪知	岡島	田田	海知	則京	四都	國島	東葉	澤野	通京	武良	豫媛	山野
伊藤	伊藤	井坂	伊藤	進藤	清水	宮川	有近	真行	柳澤	河合	沼田	別宮	堀内
富	雲	秀	吉	爲	五	義	興	寺	澤	秀	方	純	夫
二	山	治	次	治	郎	雄	朝	衛	衛	一	操	之	夫
宮	三	德	秋	秋	德	京	山	千	長	東	奈	愛	長
城	重	島	田	田	島	都	口	葉	野	京	瓦	媛	野

柏崎	大東	佐佐	獨東	天大	獨東	新和	盛岩	崎崎	竹大	東東	下榑	四大	第鹿
		逸	王	逸	協	歌						條	兒
壁玉	成京	賀賀	會京	寺阪	會京	宮山	岡手	玉玉	田分	京京	野木	暖阪	二島

小澤	岡崎	陳內	戶張	堀居	西嘉	西真	似內	長谷	羽田	芳賀	塙信	△岩	池田
直	光	雅	亮	左	嘉	真	秀次	部喜	野澄	賀清	雄	諦	達
輔	治	雄	亮	近	廣	恒	郎	久	彦	吉	雄	二	志
崎	東	佐	東	滋	東	和	岩	崎	大	福	茨	大	鹿
玉	京	賀	京	賀	京	歌	山	手	分	島	城	阪	兒

福岩	下美	豐東	第三	海東	三廣	水茨	大東	大榑	獨東	山榑	杵太	高東	高新
						海			逸				
岡手	妻城	山京	四重	城京	次島	道城	成京	田木	會京	中木	築分	輪京	田湯
菊地	木城	齋藤	佐々	佐久	佐々	荒井	足立	荒牧	江原	小林	越陸	近藤	藤岡
道	富	秀	木武	米	靖		寬	謹	駿	修		正	
三	雄	治	雄	藏	三	義	二	治	一	道	吉	岱	雄
岩	茨	新	三	千	廣	茨	千	榑	士東	榑	大	千	新
手	城	湯	重	葉	島	城	葉	木	京	木	分	葉	湯

崎崎	出身中學	第高	明廣	郁東	三香	田和	富富	中	丸香	京東	飯長
玉玉		文				歌		國	龜川	北京	山野
		二知	道島	館京	豐川	邊山	山山	學			

西澤	堯	夫	崎	玉	仙頭	瀬川	安	延	高	知	森	門	板	柴	周	三	三	宮	木
					頭	川	安	延	高	知	森	門	板	柴	周	三	三	宮	木
					頭	川	安	延	高	知	森	門	板	柴	周	三	三	宮	木
					頭	川	安	延	高	知	森	門	板	柴	周	三	三	宮	木
					頭	川	安	延	高	知	森	門	板	柴	周	三	三	宮	木
					頭	川	安	延	高	知	森	門	板	柴	周	三	三	宮	木
					頭	川	安	延	高	知	森	門	板	柴	周	三	三	宮	木
					頭	川	安	延	高	知	森	門	板	柴	周	三	三	宮	木
					頭	川	安	延	高	知	森	門	板	柴	周	三	三	宮	木
					頭	川	安	延	高	知	森	門	板	柴	周	三	三	宮	木

加鹿	大東	靜靜	三廣	柏新	宇柄	富富	獨東	第愛	福福	第愛	翁福	武福	濱靜
治兒				都			逸						
木島	成京	岡岡	次島	崎湯	宮木	山山	會京	二知	島島	五知	城島	生井	松岡
前	前	山	山	柳	山	山	山	山	久	黑	久	窪	上
原	田	中			崎	崎	內	本	江	田	保	田	杉
則		雅	英		義	佐	多	武	摩	尼	吉	宗	茂
知	巖	章	樹	順	忠	一	聞	男	東	夫	仲	福	福
鹿兒	鹿兒	靜	廣	新	柄	富	東	愛	東	岐	福	福	靜
島	島	岡	島	湯	木	山	京	知	京	阜	島	井	岡
上長	廣廣	大愛	北大	樟靜	山山	千千	正東	熊崎	富富	明東	海東	廣廣	在東
田野	陵島	洲媛	野阪	原岡	口口	葉葉	則京	谷玉	山山	治京	上京	陵島	雁京
美	三	宮	北	佐	笹	松	齋	齋	朝	小	近	河	柵
齋	宅	川	山	野	田	本	藤	藤	田	出	藤	本	木
津	一	恒		尊	丁		元	謙	吉		景	貞	信
標							三		信	武	軌	人	雄
三	良	一	博	義	二	誠	郎	一	信	武	軌	人	雄
長	廣	愛	大	靜	山	千	青	玉	富	榜	愛	廣	愛
野	島	媛	阪	岡	口	葉	森	玉	山	木	媛	島	知

獨東	關兵	三廣	東宮	本秋	八青	上長	正東	宇愛	富富	豐福	富群	水茨	日廣
逸	西							和				海	
協	學												
會京	院庫	次島	北城	莊田	戶森	田野	則京	島媛	山山	國岡	岡馬	道城	影島
田	竹	田	高	吉	橫	橫	河	梶	青	渡	岡	大	小
中	內	部	橋	川	室	關	西	原	柳	邊	田	和	川
小		勳	源	昌		直		勸	康	勝	四		
三		卓	右	吾	猛	行	勳	一	三	海	郎	操	尙
郎	卓	兵	衛	秋	北	長	靜	愛	富	大	群	茨	廣
崎	庫	島	宮	田	海道	野	岡	媛	山	分	馬	城	島
玉	庫	根	城	田	道	野	岡	媛	山	分	馬	城	島
獨東	桃大	豐福	富群	郁東	佐佐	長長	金石	佐柄	海東	千千	野長	日東	獨東
逸					文		澤						逸
協							第						協
會京	山阪	岡岡	岡馬	館京	賀賀	野野	二川	野木	城京	葉葉	澤野	本京	會京
牛	馬	中	中	中	中	中	津	蘇	田	竹	高	立	高
尾	詰	村	野	川	山	澤	田	原	中	田	橋	木	橋
	邦	重	治			一	清	近	德		三		正
薰	一	雄	平	昇	榮	郎	信	郎	二	博	男	進	義
千	德	福	群	大	佐	長	石	柄	富	東	長	長	奈
葉	島	岡	馬	飯	賀	野	川	木	山	京	野	野	良

武福	獨東	秋秋	高東	宇大	粉和	山山	函北	松島	山山	錦東	五奈	沼靜	石福
逸		千			歌	海							
生井	會京	田田	穗京	東分	河山	形形	館道	江根	形形	城京	條良	津岡	川島
奧	小	富	西	濱	島	長	長	長	稻	井	岩	石	伊
村	此	樫	原	高	山	谷	谷	谷	毛	城	垣	川	藤
良	木	順	一	家	彌	川	川	川		勤	忠	隆	弘
筑	治	二	良	次	郎	孝	司	石	信	也	利	德	馬
福	東	秋	京	大	和	山	福	島	山	東	奈	靜	福
井	京	田	都	分	山	形	井	根	形	京	良	岡	島

靜靜	獨東	獨東	岐岐	上長	福福	獨東	宇柄	明東	糸新	盛岩	太茨	富三	高群
逸	逸	協			逸	協	都	魚					
岡岡	會京	會京	阜阜	田野	島島	會京	宮木	治京	川湯	岡手	田城	田重	崎馬
河	川	川	片	和	渡	和	織	岡	小	大	岡	岡	追
島	村	井	岡	田	邊	田	田	部	幡	內	田	本	川
	元	清		袈	兵	祥	重	重	櫻		芳	支	忠
茂	善	彦	蕃	男	作	吉	直	男	學	實	郎	郎	雄
靜	東	東	廣	長	福	東	柄	東	新	岩	茨	三	群
岡	京	京	島	野	島	京	木	京	湯	手	城	重	馬

ハバ	ハア	ハマ	中北	榛靜	前群	飯長	獨東	東宮	富德	盛岩	修廣	廣廣	日山
イン	イス	イス					逸						
スバ	スク	スニ					協						
クン	クデ	クニ	學京	原岡	橋馬	田野	會京	左城	岡島	岡手	道島	陵島	川梨
ルダ	ルミ	ルラ											
バ	ミ	タ	張	鈴	關	關	森	茂	廣	平	白	新	柴
ン	ラ	ン		木	口	文	下	木	瀬	賀	井	原	宮
リ	ン	シ	輔	東	林	五	節	量	卯	莊	義	清	誠
リ	ダ	ン		一	郎	圭	郎	次	一	輔	道	人	吾
ヨ	ー	コ	衰	靜	群	長	奈	郎	德	岩	廣	廣	山
ビフ	ビフ	ビフ	支	那	岡	野	良	城	島	手	島	島	梨
イン	イン	イン	那										
リツ	リツ	リツ											

卷新	立東	八大	中大	古宮	會福	秋秋	立東	太柄	海東	出身中學	大	フイ
中湯	教京	尾阪	津分	川城	津島	田田	教京	田木	城京	氏	イリ	ツ
井	岩	稻	井	岩	石	石	今	磯	石	名	ク	ス
上	間	垣	上	淵	田	垣	井	政	塚	族府	ト	デ
宏	清	朗	勇	介	義	道	金	光	也	籍縣	ヨ	ヨ
新	東	大	大	宮	福	夫	太	柄	靜		一	フイ
湯	京	阪	分	城	島	秋	埜	木	岡		フイ	リツ

第三學年(百三十六名)

杵島	飯長	佐新	三新	太群	高群	萩山	荏東	第愛	烏枏	會福	獨東	開東	鼓岐
											逸		
											協		
築根	田野	渡湯	條湯	田馬	崎馬	中口	原京	二知	山木	津島	會京	成京	阜阜
藤	福	原	松	正	真	松	松	山	山	山	山	柳	八
原	澤	田	川	田	木	原	田	本	口	田	田	川	木
富	周	博		二	武	淨	精	武	廣	俊	正	清	大
士	平	二	甫	郎	次	二	樹	男	美	男	良	三	一
雄	長	新	新	群	東	山	鳥	愛	枏	福	東	崎	愛
島	野	湯	湯	馬	京	口	取	知	木	鳥	京	玉	媛
根													
德德	富群	庄山	郁東	赤東	獨東	獨東	第京	赤東	白宮	本秋	鳥鳥	青東	相福
					逸	逸							
					文	協							
島島	岡馬	内形	館京	坂京	會京	會京	二都	坂京	石城	莊田	取取	山京	馬島
赤	新	足	秋	赤	安	手	江	小	小	小	近	小	小
岩	井	達	谷	上	藤	塚	川	松	關	松	藤	泉	林
享	房	定	二	初		八	直	善	武	了	孝	字	根
二	藏	治	郎	雄	副	世	溫	治	郎	助	平	治	茂
德	群	山	千	茨	福	東	京	崎	宮	秋	鳥	東	福
島	馬	形	葉	城	鳥	京	都	玉	城	田	取	京	鳥

廣慶	村新	錦東	下枏	太枏	糸新	豊福	鴻山	杵島	郁東	高廣	成千	五奈	青東
					魚				文	等師範附屬島			
陵島	上湯	城京	野木	田木	川海	國島	城口	築根	館京	東葉	條良	山京	
塚	高	高	田	高	田	多	田	竹	吉	吉	吉	吉	川
本	橋	橋	中	久	原	田	中	田	永	田	田	田	又
	甚	良		三	三	隈	武	廣	俊	武	英	田	鵬
	太	平	格	郎	郎	久	輔	吉	一	夫	賢	穰	介
式	郎	千	福	枏	新	熊	山	鳥	廣	岡	千	奈	東
山	新	葉	鳥	木	湯	本	口	根	鳥	山	葉	良	京
口	湯												
海東	小北	眞枏	豆靜	濟熊	金岡	彦滋	磯富	京東	宇枏	第愛	成東	赤東	豆靜
	海								都				
天京	權道	岡木	陽岡	覺本	川山	根賀	波山	北京	宮木	二知	城京	坂京	陽岡
窪	黒	黒	栗	浦	内	中	中	中	中	中	中	塚	土
田	澤	澤	田	本	田	川	島	村	川	野	根	田	屋
精	雄	源	耕	懿	玉	鐵	榮			英	雄	太	璋
四	三	治	雲	人	治	治	太	忠	香	雄	郎	滿	二
郎	北	郎	靜	熊	岡	滋	郎	茨	梅	愛	山	茨	靜
長	海	枏	岡	本	山	賀	富	茨	木	知	形	城	岡
野	道	木	岡	本	山	賀	山	城	木	知	形	城	岡

東宮	榛靜	山山	吳熊	卷新	白宮	米山	宇三	農春	浦崎	郁東	岩山	福福
							治川					
							山學					
							公					
北城	原岡	口口	木中	湯	石城	澤形	田重	校立	和玉	館京	國口	島島
盛	水	佐	澤	赤	阿	高	伊	市	咸	鈴	鈴	角
合	野	々	田	地	久	橋	藤	川		木	木	一
芳		木	勝	龍	津	善	廣	友	用	壽		鐸
枝	東	巳	喜	穉	之	兵	昆	雄	煥	慶	俊	惠
岩	靜	山	熊	新	助	衛	山	長	朝	崎	千	山
手	岡	口	本	湯	茨	宮	形	野	群	玉	葉	口
芝東	浦崎	高新	磯富	浦崎	枳枳	遠岩	龍茨	卷新	彦滋	豐岡	高岡	
京	和玉	田湯	波山	和玉	木木	野手	崎城	湯	根賀	津山	梁山	
林	蓮	秦	八	市	稻	雪	池	今	今	井	石	
寅	沼		田	川	葉	吹	延	井	村	上	原	
									吉	清	守	
									之	香	信	
									輔	福	岡	
一	長	滋	一	三	郎	周	雄	洞	新	滋	岡	
東	崎	新	富	崎	茨	岩	茨	新	湯	賀	岡	
京	玉	湯	山	玉	城	手	城	湯	賀	岡	山	

福廣	大愛	第鹿	小福	遠岩	第愛	藤群	獨東	天奈	德德	平朝	太群	大長	第愛
		二											
		鹿兒											
		兒											
山島	洲媛	島島	濱井	野手	二知	岡馬	會京	理真	島島	壤群	田馬	村崎	四知
三	宮	三	水	道	岸	北	酒	大	酒	佐	齋	坂	跡
谷	崎	島	口	又	本	野	井	月	井	久	藤	口	見
										間		喜	
										要		誠	
茂	照	義	三	吾	護	七	男	雄	清	治	茂	衛	誠
廣	愛	鹿兒	福	岩	愛	群	東	福	山	宮	群	長	靜
島	媛	島	井	手	知	馬	京	島	口	城	馬	崎	岡
橫秋	獨東	長長	京京	枳枳	杵大	大福	佐千	大枳	糸新	加鹿	東福	高東	磯富
手田	會京	野野	郡郡	木木	白分	野井	原葉	原木	川湯	木島	筑岡	輪京	波山
杉	鈴	關	關	茂	守	平	平	人	廣	白	宮	壬	宮
山	木			呂	谷	井	山	見	瀨	尾	崎	生	島
良	正	泰		公		毅	英		秀	國	真	倉	知
嗣	一	三	薰	平	馨	一	夫	武	雄	憲	澄	博	二
秋	東	長	高	枳	大	福	千	枳	新	鹿兒	福	山	富
田	京	野	知	木	分	井	葉	木	湯	島	岡	梨	山

(大正十年四月  
第十一回入學)  
第二學年(百五十三名)

出身中學

氏

名

縣別



太群	立京	眞柄	第愛	熊崎	濱靜	盛岩	延宮	濱靜	安福	古宮	膳滋	第滋	東東
命													
田馬	館都	岡木	二知	谷玉	松岡	岡手	岡城	松岡	積島	川城	所賀	一賀	京京
永	名	塚	高	田	高	大	田	吉	吉	吉	吉	河	鎌
田	引	田	橋	口	部	光	中	川	野	水	川	賴	内
俊	俊	鐵	俊		恒	寺	重	國	部		重	純	繁
介	次	藏	文	晋	夫	得	治	郎	貞	良	淳	三	郎
群	和	柄	愛	崎	靜	岩	宮	東	福	宮	滋	滋	兵
馬	歌	山	木	知	玉	岡	手	城	京	島	城	賀	庫
日東	飯長	獨東	小福	富富	立京	嘉福	東福	下茨	龍茨	第神	卷新	魚富	川鹿
逸					命								兒
協													
本京	田野	會京	濱井	山山	館部	積岡	筑岡	妻城	崎城	二繩	湯	津山	内島
山	山	黑	九	野	野	白	占	武	永	仲	成	中	中
崎	口	田	谷	島	田	井	部	笠	瀬	間	田	山	村
			康	重	三		茂	武	省	邦	慶	靜	範
碩	積	稔	哉	治	春	馨	八	男	五	夫	男	治	男
千	長	東	福	富	長	福	福	茨	茨	沖	新	富	鹿
葉	野	京	井	山	崎	岡	岡	城	城	繩	湯	山	兒

高岡	盛岩	磐福	大東	村新	郁東	高岡	明東	村新	粕崎	粉和	豐福	畝奈	川鹿
梁山	岡手	城島	成京	松湯	館京	梁山	治京	上湯	壁玉	河山	國岡	傍良	邊島
岡	折	額	李	千	戶	鳥	細	本	西	西	西	服	橋
村				葉	谷	越	谷	間	山	尾	尾	部	口
竹	居	賀	朝	秀	猪	三	勝	文	正	淺	知	宗	盛
次	隆	誠	宗	夫	一	省	治	雄	雄	助	明	緩	武
岡	岩	福	臺	新	鳥	岡	東	山	千	和	福	奈	鹿
山	手	鳥	灣	湯	根	山	京	形	葉	歌	岡	良	兒
													鳥
竹島	佐宮	豆靜	和和	第愛	宇柄	獨東	獨東	宇柄	新山	山山	長長	第高	青八
						逸	逸						
						協	協	都					
築根	原城	陽岡	山山	五知	宮木	會京	會京	宮木	莊形	形形	野野	三知	戶森
浦	葛	金	河	加	河	梶	渡	大	大	大	小	尾	奧
生	城	持	原	藤	內	原	邊	野	江	澤	川	崎	秋
傳	晃		英	敏		豐	立	政	新		實	忠	
治	彦	明	雄	郎	勇	一	雄	次	郎	朗	雄	彦	進
烏	岩	靜	和	愛	柄	山	岩	柄	山	山	長	高	山
根	手	岡	歌	知	木	梨	手	木	形	形	野	知	梨

飯長	讀長	獨東	岡岡	宇柄	弘青	飯長	大東	石福	遠岩	高東	獨東	豊東	卷新
		逸		都							逸		
		協									協		
田野	訪野	會京	山山	宮木	前森	田野	成京	川島	野手	輪京	會京	山京	湯
城	澁	清	柴	水	菟	宮	見	水	道	喜	北	佐	佐
田	川	水	原	澤		下	須	野	又	多	濱	々	野
義	健		留	哲		秀	謙	忠	慶			左	健
一	男	久	郎	三	郡	敏	吉	雄	治	重	章	郎	二
長	長	東	岡	柄	青	長	岐	福	岩	神	神	秋	新
野	野	京	山	木	森	野	阜	島	手	奈	奈	田	湯
京	千	沼	愛	熊	荏	相	第	札	海	八	大	獨	小
部		知		崎	東	福	東	北	東	青	東	東	福
第		第		玉	京	馬	三	一	道	城	京	會	倉
二	葉	津	一	谷	原	島	京	一	道	城	京	會	倉
杉	鈴	鈴	鈴	持	森	守	樋	東	日	神	島	莊	柴
本	木	木	木	田		家	田		高	三		田	竹
		得	武	治	泰		正		忠				若
保	基	三	美	郎	藏	傳	雄	榮	男	男	央	泰	隆
京	千	靜	愛	崎	東	福	東	北	宮	青	愛	愛	北
都	葉	岡	知	玉	京	島	京	海	城	森	知	知	海

濱靜	會福	京京	樟樟	第鹿	第沖	敵奈	鴻山	大福	獨東	田和	東東	土茨	榮福
									逸				
									協				
松岡	津島	都都	太太	二鳥	一繩	傍良	成口	野井	會京	邊山	京京	浦城	城島
小	福	藤	福	福	松	松	山	山	山	山	山	矢	矢
木	田	川	田	崎	本	田	岡	內	田	羽	岸	口	島
夫	能	秀	利	忠	米	政	修	謙	統	義	商		精
丑	道	三	治	夫	郎	門	一	二	二	人	平	馨	美
靜	福	富	東	鹿	沖	奈	山	福	福	和	崎	茨	福
岡	島	山	京	兒	繩	良	口	井	岡	歌	山	玉	島
鶴山	高群	三香	第高	德德	新山	字大	日東	福福	石福	成千	野長	宇柄	寶愛
													都
岡形	崎馬	豐川	三知	島島	莊形	佐分	本京	島島	川島	東葉	澤野	宮木	飯知
齋	澤	佐	坂	佐	佐	安	天	遠	遠	遠	小	小	小
藤	田	々	崎	々	藤	東	谷	藤	藤	藤	池	林	林
久	利	木	三	木	文	文	正	正			伍	不	二
悅	雄	見	郎	平	司	郎	正	光	豐	晉	祐	哲	夫
山	群	香	高	德	山	大	東	福	福	千	長	柄	愛
形	馬	川	知	島	形	分	京	島	島	葉	野	木	知

米島	米山	本秋	岩山	天熊	高東	獨東	鶴山	竹大	第東	諏長	村新
						逸					上湯
子取	澤形	莊田	國口	草本	輪京	會京	岡形	田分	一京	訪野	
細	芳	早	波	伊	今	石	池	岩	稻	伊	菅
田	賀	川	多	福	泉	川	田	屋	田	藤	原
	善	賢	野	景	幸	孫	左		秀	哲	惣
勇	雄	郎	孝	人	一	一	右	了	一	夫	太
鳥	山	秋	山	鹿	愛	郎	輔	大	東	長	郎
取	形	田	口	兒	知	千	山	分	京	崎	新
				島		葉	形				湯

出身中學別  
 (大正十二年四月)  
 第十二回入學  
 第一學年(百三十名)

萩山	東東	大東	宇愛	第愛	八大	古宮	柏崎	本秋	明廣	東東	富三	立東	尾東
			和										逸
口	京京	成京	島媛	一知	尾阪	川城	壁玉	庄田	道愛	京京	田重	教京	會京
小	岡	奧	小	奧	大	大	奧	小	小	大	奧	富	星
野	本	山	川	村	北	山	貫	川	山	竹	山	田	野
	清	薰	正	一		政	正	一	秀	藤	善	春	元
正	治	喜	俊	男	要	之	雄	秀	林	一	右	英	元
山	東	愛	愛	岐	大	助	崎	秋	廣	愛	衛	愛	元
口	京	知	媛	阜	阪	宮	城	田	島	知	門	三	元
											重	重	元

柏崎	關岡	大香	東東	福福	開東	小神	關岡	大東	京東	磐福	豊福	岸府	明愛
													倫
壁玉	西山	川川	京京	島島	成京	原川	西山	成京	華京	城島	岡岡	田立	學知
													中
大	大	大	大	星	西	濱	林	石	堀	遠	山	和	奧
島	崎	石	谷		片	野		井	澤	藤	下	田	村
元	義	德	正		知	信	正		尙	勇	直	掃	博
太	夫	市	直	卓	忠	雄	夫	汎	中	郎	樹	部	隆
郎	兵	香	東	福	新	神	兵	靜	岐	福	山	大	愛
干	庫	川	京	島	湯	奈	庫	岡	阜	鳥	口	阪	知
葉						川							

東東	第鹿	橫秋	獨東	沼靜	開岡	明愛	下柄	豊兵	津岡	廣廣	石福	下柄	都東
			逸										文
京京	二島	手田	會京	津岡	谷山	倫知	野木	岡庫	山山	陵島	川鳥	野木	館京
森	森	森	佐	坂	山	永	永	田	谷	高	高	荊	大
田	川	川	々	井	田	田	澤	中	口	橋	山	部	塚
金	確	精	木	貞	穗	義		仁			興	元	順
一		一	秀	三	波	太	明	五	衡	貢	親	一	順
郎	二	秋	敏	三	熊	郎	柄	兵	岡	熊	福	柄	滋
群	鹿	田	東	靜	本	愛	木	庫	山	本	鳥	木	賀
馬	兒	鳥	京	岡		知							

東愛	德山	宮富	順歌	福福	和	七石	第石	高富	膳滋	三廣	獨東	杵島	土茨
					歌						逸		
											協		
海知	山口	山山	天京	井井	山	尾川	一川	岡山	所賀	次島	會京	築根	浦城
藤	藤	藤	藤	藤	淵	福	松	松	真	山	山	山	山
岡	本	井	倉	田	光	田	島	島	田	崎	崎	根	崎
洋	重	三	武		兵		虎	正	曉	真	匡	達	
一	雄	郎	男	仁	愛	一	借	男	一	成	雄	志	雄
愛	山	富	千	福	新和	石	石	富	滋	廣	崎	島	崎
知	口	山	葉	井	宮山	川	川	山	賀	島	玉	根	玉

郁東	甲山	長新	仙宮	金石	甲山	長新	郁東	會福	京東	日東	獨東	東東	名愛
文			臺				文				逸		古
			第								協		
館京	府梨	岡湯	一城	澤川	府梨	一湯	館京	津島	華京	本京	會京	京京	屋知
阿	赤	秋	安	扇	遠	小	小	小	鄉	金	小	後	小
部	池	山	久	谷	藤	林	林	池	順	野	林	藤	池
重	武	階	津	貫	光	正	正		一	武			孝
男	男	治	庄	一	朗	嗣	男	允	郎	榮	忠	甫	雄
新	山	新	宮	富	山	新	群	鳥	千	岩	茨	岐	岐
湯	梨	湯	城	山	梨	湯	馬	鳥	葉	手	城	阜	阜

荏東	八青	籙福	甲山	杵島	安福	萩山	水茨	今愛	磐福	三廣	佐新	聖東	日東
原京	戶森	城島	中校	築根	積島	口	戶城	治媛	城島	次島	渡湯	院京	本京
立	種	吉	吉	津	加	賀	川	菅	渡	若	渡	渡	長
原	市	田	野	間	藤	川	崎	義	邊	川	邊	邊	田
三	良		俊	駿					純	淳	秋		龍
郎	春	正	治	介	孝	古	太	富	一	爾	雄	曉	夫
茨	青	福	山	島	福	山	茨	愛	福	廣	新	山	靜
城	森	島	萬	根	島	口	城	媛	島	島	湯	梨	岡

盛岩	佐千	獨東	豐東	上大	豐東	同京	豐山	獨東	獨東	高東	高新	岩山	田和
		逸				志		烈	逸	師			歌
		協						協	協	屬			
岡手	倉葉	會京	山京	宮阪	島京	社都	浦口	會京	會京	中京	田湯	國口	邊山
矢	栗	黑	熊	馬	內	永	中	名	奈	中	塚	武	高
野	原	田	坂	越	田	原	島	倉	良	原	田	中	垣
正	菊		文	直	甲	奧		省	林	恒	久		靜
喜	造	要	郎	道	夫	助	浩	三	彌	雄	雄	東	夫
愛	千	東	宮	愛	崎	愛	山	東	東	京	新	廣	和
媛	葉	京	城	媛	玉	知	口	京	京	都	湯	島	歌

秋	高	順	豐	玉	日	成	高	獨	岸	仙	豐	東	福
田	輪	天	國	名	本	東	輪	會	田	臺	津	京	井
兒	福	谷	吉	菅	小	小	大	富	濱	半	井	石	間
玉	井	口	永	友	山	河	菅	永	井	澤	關	崎	部
		古				原	真	秀	考	良		芳	
晃	巖	人	隼	之	正	治	平	喜	夫	郎	馨	得	薰
秋	東	富	福	熊	鹿	千	京	福	大	宮	福	鹿	福
田	京	山	岡	本	兒	葉	都	島	阪	城	岡	兒	井

柏新	厚神	濱靜	正東	橫神	新新	川鹿	小福	木千	荏東	廣廣	米山	北大	
	奈			須奈	發	兒		更					
崎湯	本川	松岡	則京	賀川	田湯	邊島	倉岡	第大 十三正 回年 入學四 月	津業	原京	陵島	澤形	野阪
石	井	伊	井	飯	飯	飯	石	菅	城	三	佐	金	
田	戶	東		田	田	田	井	野	石	刀	藤	田	
恭	守			田	省	清	義	二	與	伊	信	虎	
平	一	清	渡	潔	三	次	忠	郎	三	織	之	一	
新	岐	靜	神	神	新	次	福	靜	右	廣	助	大	
野	阜	岡	奈	奈	湯	鹿	岡	岡	衛	東	山	阪	
			川	川	湯	兒			門	京	形		

大岐	長長	伊兵	小福	角宮	粹大	盛岩	郡奈	上大	北北	縣福	立東	眞柄	豐福
			倉							之	海		
			師										
垣阜	野野	丹庫	範岡	田城	築分	岡手	山良	宮阪	海道	立岡	教京	岡木	津岡
篠	宮	滿	宮	湯	紀	木	木	紀	坂	酒	榊	佐	相
田	下	井	內	村	憲	村	岡	田	本	井	原	藤	良
修	英	賴	眞	次		不	源	義	忠	平	道	倉	玲
一	齋	一	澄	郎	修	男	吾	雄	雄	佐	雄	郎	雄
岐	長	大	福	東	大	岩	奈	大	北	佐	東	茨	福
阜	野	阪	岡	京	分	手	良	阪	海	賀	京	城	岡

獨東	太群	磐福	三廣	佐宮	獨東	京朝	師新	宇柄	獨東	獨東	獨東	掛靜	大長
逸					逸				逸	逸	逸		
協				協				都	協	協	協		
會京	田馬	城島	次島	沼城	會京	城鮮	範湯	宮木	會京	會京	會京	川岡	村崎
須	須	鈴	鈴	菅	鈴	菅	鈴	關	森	百	平	清	澁
藤	永	木	木	原	木	沼	木	本	岡	瀨	野	水	川
	求	正	眞		雅	禮	留	英			信	正	
明	馬	雄	理	讓	太	政	三	夫	寬	久	司	力	美
福	群	福	廣	宮	郎	福	郎	柄	靜	東	新	靜	長
井	馬	島	島	城	重	島	湯	木	岡	京	湯	岡	崎

津三	富三	飯長	佐千	白宮	宇柄	兩北	新山	富富	同京	大柄	北北	十奈	大秋
				都	海			志	田	海	津		
重	田重	田野	倉葉	城城	宮木	館道	庄形	山山	社都	原木	海道	川良	館田
岡	尾	尾	奧	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大
林	關	澤	澤	泉	越	條	江	野	川	塚	貫	島	里
義	重	次	次	滿	景	次	晉	達	之	利	虎	貞	
一	威	章	男	浩	丸	安	郎	一	男	助	嗣	雄	治
三	愛	長	千	宮	岩	北	山	富	兵	梶	北	奈	秋
重	知	野	葉	城	手	道	口	山	庫	木	道	良	田
川鹿	下柄	白大	關岡	海東	新新	不埤	大愛	梓大	赤東	京東	大東	大東	與山
兒				發	動								
內島	野木	梓分	西山	城京	田湯	岡玉	洲媛	築分	坂京	華京	成京	成京	風口
川	川	河	金	鳴	加	加	和	渡	渡	岡	小	小	恩
俣	村	村	光	志	藤	藤	氣	邊	邊	田	野	川	知
潤			音	田	孝	武		政	健	寺			太
德	佐	順	近	夫	之	臣	眞	選	夫	吉	晃	博	郎
鹿	柄	大	岡	茨	福	崎	愛	大	福	東	山	靜	山
兒	木	分	山	城	島	玉	媛	分	井	京	形	岡	口
鳥													

唐佐	延宮	耐和	名東	曉山	浦崎	富德	獨東	新山	藤神	順東	新新	郁東	盛岩
							逸		奈		發	文	
津賀	岡城	久山	教京	星口	和玉	山島	會京	莊形	澤川	天京	田湯	館京	岡手
波	原	橋	服	原	原	林	石	伊	岩	市	家	逸	石
多	田	本	部	口		岩	浦	藤	淵	原	田	見	川
江	敏	光	靜	正	通		登	宣	眞	三	三	俊	良
種	章	次	雄	矩	安	吉	美	夫	夫	男	一	明	斌
美	宮	大	鹿	山	崎	德	富	和	神	福	新	廣	岩
福	崎	阪	兒	口	玉	島	山	歌	奈	鳥	湯	鳥	手
岡													
福福	熊崎	立東	成東	東仙	修廣	大千	眞彬	明東	修廣	廣廣	金岡	川鹿	第愛
				北		多						兒	
				學									
鳥鳥	谷玉	教京	踐京	院臺	道島	喜葉	岡木	治京	道島	陵島	光山	邊島	三知
荻	沼	龍	千	千	遠	所	星	西	西	西	西	新	早
生	尻	庸	葉	葉	山	文	達	俊	龜	村	岡	原	川
三	良		敬	敬					耕	治	十	豐	小
雄	忠	夫	正	眞	霞	夫	吉	英	二	雄	一	彦	六
福	崎	福	東	宮	廣	千	柄	鹿	廣	廣	岡	鹿	愛
鳥	玉	井	京	城	鳥	葉	木	兒	鳥	鳥	山	兒	知

高香	獨東	岐岐	富富	眞三	日廣	錦東	千千	日廣	都東	高廣	高東	金岡	荏東
逸			宗	觀	影			影	文				
協			學										
松川	會京	阜阜	山山	院重	館島	城京	葉葉	館島	館京	陵高	輪京	川山	原京
山	山	山	柳	山	山	黑	栗	黑	桑	桑	野	內	上
田	下	田	內	山	山	坂	原	木	島	原	田	田	田
茂	幸	眷	兵	鹿	田	芳	安	規	良	健	直	藤	誠
雄	雄	爾	術	治	壽	男	邦	矩	英	文	德	次	誠
香	福	岐	富	太	己	福	千	一	廣	廣	東	岡	千
川	島	阜	山	夫	廣	馬	葉	馬	手	島	京	山	葉
佐	結	傳	日	總	師	磯	嘉	山	濱	獨	海	米	攻
野	壁	館	本	中	範	波	德	形	松	會	草	澤	會
福	松	增	丸	松	松	正	安	山	山	柳	安	山	山
井	本	田	山	井	井	來	永	川	內	下	井	田	口
敬	夫	之	千	敏	此	正	延	平	興	柳	博	晉	俊
群	塔	熊	里	雄	一	也	木	作	丸	平	人	山	一郎
馬	玉	本	野	無	石	富	福	山	靜	靜	和	山	一郎

高廣	獨東	大東	橫神	津群	津岡	武福	田和	高群	京東	川鹿	龍茨	天大	金岡
逸			奈			歌				兒	ヶ	王	
協													
梁島	會京	成京	須川	田馬	山山	生井	邊山	崎馬	北京	邊島	崎城	子坂	光山
土	立	多	田	田	竹	竹	竹	高	高	吉	吉	芳	神
屋	澤	氣	邊	村	內	內	中	橋	橋	見	岡	野	原
俊		達	秀	篤		武	文	邦	常		榮	清	安
策	昌	二	夫	明	基	夫	男	一	道	彰	樹	夫	助
岡	崎	京	福	群	岡	福	和	群	山	鹿	千	三	廣
山	玉	都	島	馬	山	井	歌	馬	梨	兒	葉	重	島
中	都	師	京	橫	石	大	沼	熊	大	赤	東	愛	厚
文				須	福	福							奈
津	分	館	京	龍	北	賀	川	野	津	本	本	館	坂
上	海	確	村	村	永	永	長	內	內	辻	壺	塚	土
野	野	井	山	田	沼	瀬	岡	古	藤	本	井	口	忠
迪		正	保		直	福	壯	閉	並	敏	久		田
博	明	義	郎	勳	二	雄	一郎	誠	二	雄	雄	茂	武
大	東	廣	新	神	福	福	靜	無	秋	東	愛	兵	夫
分	京	島	湯	奈	島	井	岡	本	田	京	知	庫	奈

第愛 高廣 山山 第受 本秋 第沖 金岡 第賦 北北 佐宮 安千 彦滋 中福 獨東  
海 津 逸 協

二知 陵島 形形 五知 莊田 一繩 川山 二知 海道 沼城 房葉 根賀 川岡 會京

木 木 澤 三 幸 目 毛 三 宮 三 志 下 穴  
村 田 幣 野 黑 受 好 里 川 宮 地 戶  
利 義 忠 政 英 治 郎 忠 良 信 元 善 善  
久 夫 雄 厚 磨 名 男 八 壽 榮 立 清 秀 龜 秋  
神奈川 福 滋 賀 千 菜 山 形 道 知 山 形 知 島 鳥 知

畝奈 獨東 飯長 小福 順東 佐佐 北北 富德 獨東 鴻山 獨東 獨東 浦崎 佐柄  
逸 協 海 逸 協 逸 協 逸 協 逸 協 逸 協 逸 協 逸 協

其 會京 田野 倉岡 天京 賀賀 海道 岡島 會京 城口 會京 會京 和玉 野木

清 水 清 水 清 水 清 水 清 水 清 水 清 水 清 水  
龍 甲 甲 甲 甲 甲 甲 甲 甲 甲 甲 甲 甲 甲  
雄 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子  
柄 玉 玉 玉 玉 玉 玉 玉 玉 玉 玉 玉 玉 玉  
賀 京 野 岡 山 賀 賀 賀 賀 賀 賀 賀 賀 賀 賀

白大 麟福 甲山 北愛 平長 日廣 佐新 石福 土茨 水茨 相福 第高 太壽 熊崎  
影 海

杵分 城島 府梨 豫媛 戶崎 館島 渡瀨 川島 浦城 道城 馬島 一知 田馬 谷玉

藤  
崎  
洋  
司  
崎  
玉 玉

豊福 成千 柄柄 京東 鶴山 横秋 新山 本秋 日東 山山 沼靜 上長 札北 柏新  
本 大 海

津岡 東葉 木木 北京 岡形 手田 庄形 莊田 學京 形形 津岡 田野 梶道 崎湯

藍 澤 藍 澤 藍 澤 藍 澤 藍 澤 藍 澤 藍 澤 藍 澤 藍 澤 藍 澤 藍 澤 藍 澤  
太  
郎  
新  
湯 湯



府縣別	北海道	東 京	京 都	大 阪	神 奈 川	兵 庫	長 崎	新 潟	埼 玉	群 馬	千 葉	計
卒業生	一	二〇	一	四	一	五	七	〇	九	二	一	一一
卒業受驗生			一	一	一	三	四	二	四	四	三	四
第四學年	一	七	一	三		一	一	一	五	三	三	一
第三學年	一	二	一				一	八	四	五	六	一
第二學年	二	一	一	三	四	一	八	五	三	五	三	二
第一學年	一	〇	二	四	一	二	七	六	二	二	五	一
豫科	六	五	一	七	三	一	七	七	七	四	七	六
計	一一	七二	八	一四	二二	一六	一一	四五	三八	二一	四〇	一一

卒業生及學生府縣別一覽

(大正十一年四月調)

長長	長	真	島	安	東	都	福	朝	木	山	三	宇
杉	谷	木	田	須	鈴	森	井	白	岩	東		
治	谷	木	木	田	鈴	村	上	井	間			
幹	三	弘	貫	雄	海	一	洋	雄	信			
東	東	根	島	福	東	福	東	山	三			
京	木	根	島	京	同	京	梨	重				

愛媛	香川	徳島	和歌山	山形	廣島	岡山	鳥根	鳥取	富山	石川	福井	秋田	山形	
一	二	六	六	八	一四	六	五	三	三	六	四	二	三	
二	一	二	三	三	四			一	四		一	一	二	
四		五	一	二	六				四		一	三	一	
		二	一	一	六	三	二	三	二	二		四	三	六
二	二	一	四	二		五	二		四		二	二	五	
四	一		二	四	七		二	三	四	二	一	三	三	
二		一	四	三	一	七	一	〇	四	一	四	七	八	
一五	八	一六	二一	二八	四五	二〇	一三	九	〇	一〇	一七	二一	二八	

青森	岩手	福島	宮城	長野	岐阜	滋賀	山梨	靜岡	愛知	三重	奈良	栃木	茨城		
二	二	二	三	七	一	五	四	一	二	二	五	三	二	二	
一	三	二	一	四	一			三	一	三	一	一	四	四	
一	一	三	二	四	七	一	一	一	五	二	二	三	四		
		二	八	五	五			一	一	九	三	一	一	八	四
二	六	一	四	六	二	四	二	六	八		一	八	五		
一	二	七	六	二	四	一	四	二	六	二		三	四		
〇	二	八	二	四	三	二	三	六	六	三	一	七	三		
七	二	〇	六	一	二	九	四	三	一	五	九	一	五	四	六

高知	三	八	四	一	二	一	一	二	九
福岡	八	二	二	二	二	一	五	二	八
大分	四	二	二	三	一	七	四	七	二
佐賀	一	二	三	一	一	一	一	九	一
熊本	八	二	二	二	二	三	三	五	四
宮崎	一	二	三	二	二	一	二	四	五
鹿兒島	八	一	三	二	四	三	二	七	四
沖繩	一	一	一	二	一	一	一	一	一
臺灣	三	一	一	一	一	一	一	一	一
朝鮮	二	一	一	一	一	一	一	一	一
支那	一九	二	二	一	一	一	一	一	一
支那	二〇	一	一	一	一	一	一	一	一
計	三四二	八四	一〇二	一三六	一五三	一三〇	一八五	一一三	一一三

一三六

敷地建物

本校ハ東京宮城東北方本郷區駒込千駄木町ニアリ

面積 二千三百坪

本敷地ノ外本校敷地ノ南側千駄木町七十番地面積三〇六坪ニアル建物四棟ヲ買収、敷地ヲ擴張セリ  
 之レニ建設セル本校附屬總建坪 八百三十六坪五合 内譯(新譯會二六六、五、  
 其他五七一、) 年(竣工又ハ引繼)月

各建物ノ建坪ヲ表示スレバ左ノ如シ 摘 要

一本館	木造二階建	二百六十五坪五合	大正一一、五、
一第一號教室	木造二階建	百八十坪	大正六、九
一解剖學教室	木造二階建及地下室	八十八坪	大正四、七
一藥物、生理學、衛生、細菌學教室	木造二階建	九十六坪	同
一第一號教室	木造二階建	八十坪	同
一病理學教室	木造平家建	三十二坪	大正三、一二
一臨床講義室	木造平家建	四十坪	同

敷地建物

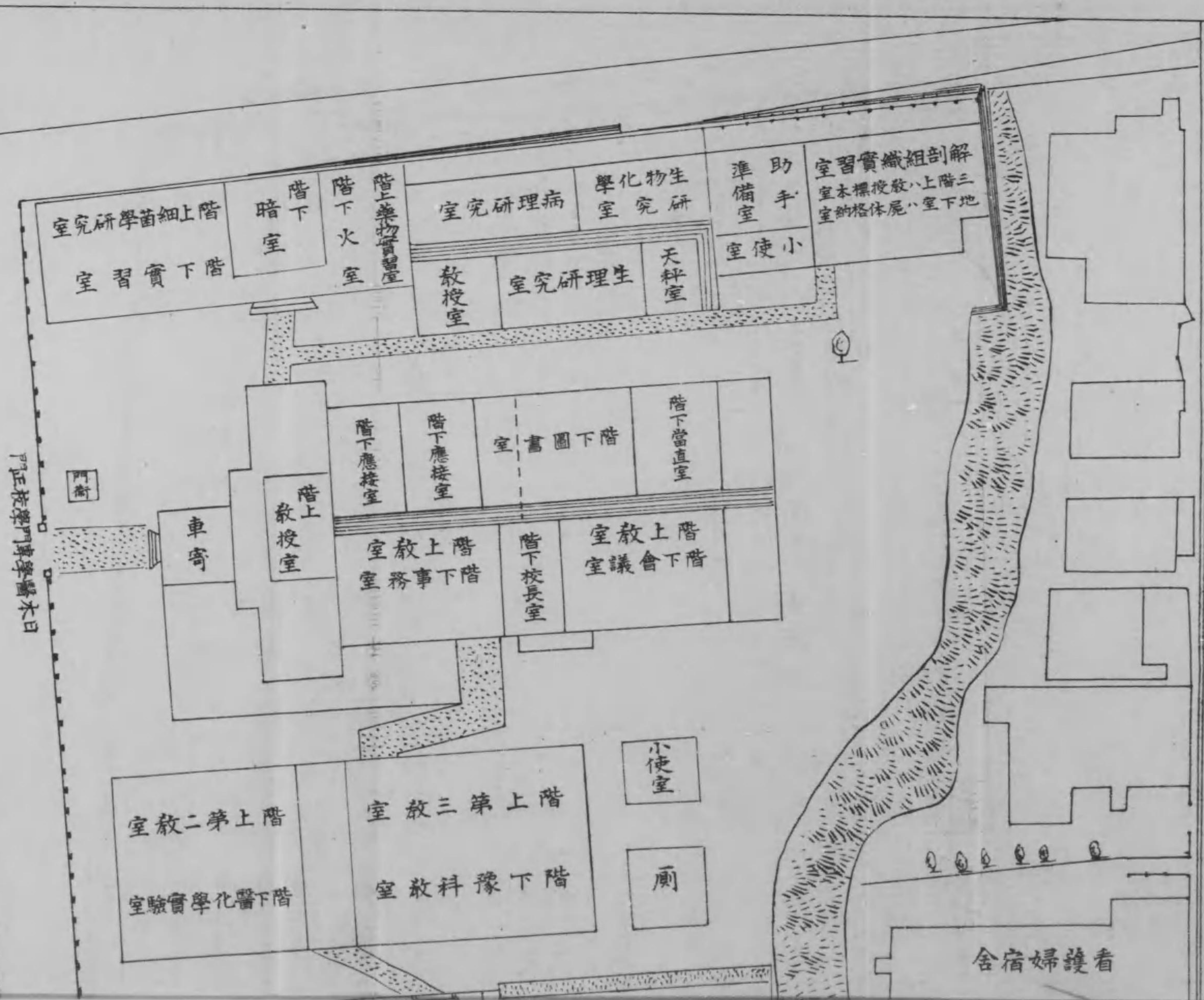
一三七

一 事務室、小使室	木造平家建	五	十	坪	同七、九
一 便所	木造平家建	五	十	坪	大正四、七
一 計		五百七十一		坪	
一 附屬醫院	木造二階建	四百四十二	坪七合五勺		大正三、一二 其後増築
一 手術室	煉瓦平家建	十	五	坪	同
一 炊事場	木造平家建	十	五	坪	
一 食堂	木造平家建	十一	坪二合五勺		
一 動物飼養堂		四		坪	
一 屍體室		四	坪五勺		
一 計		四百九十二	坪五合		

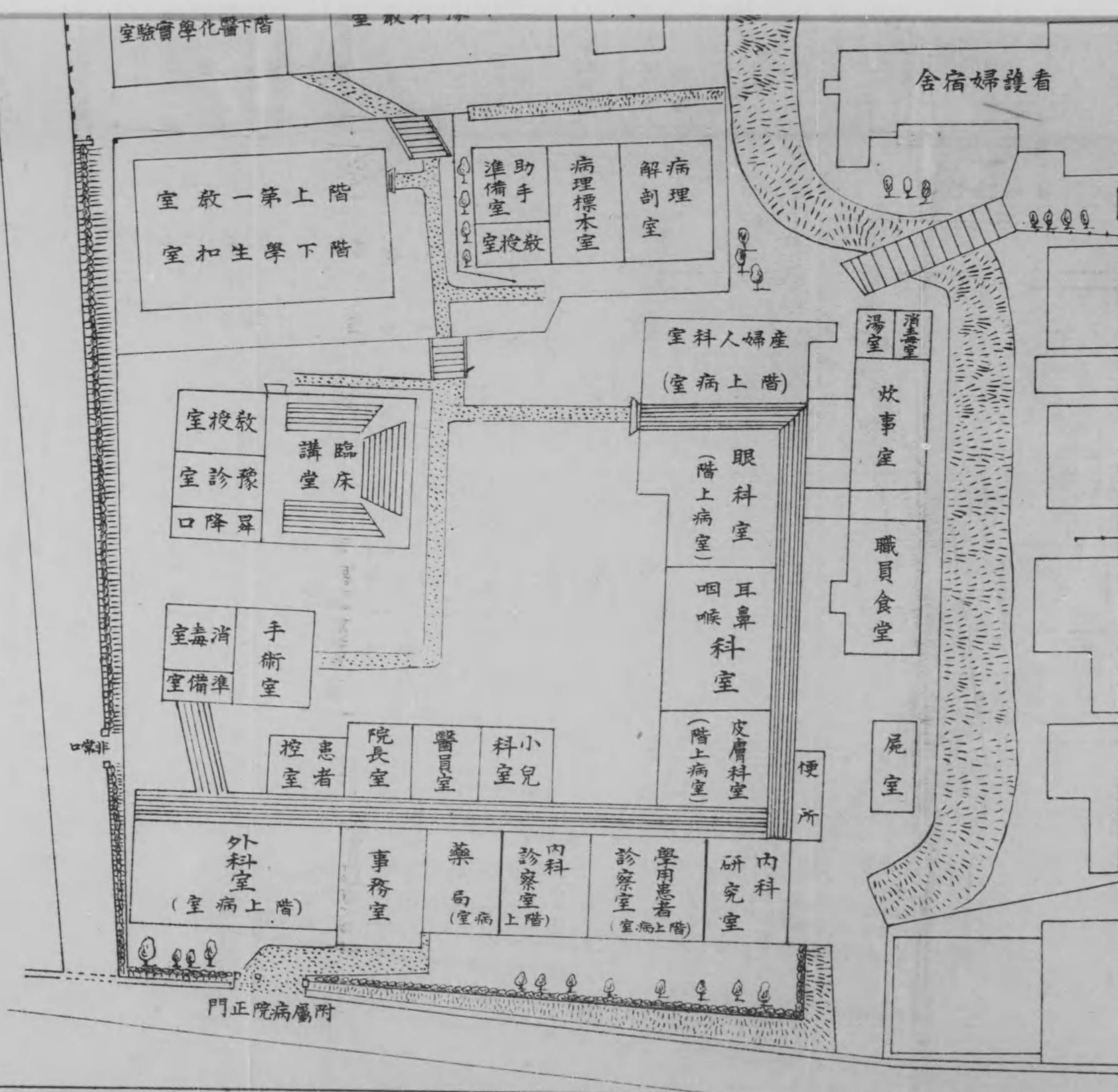
本校ハ各種ノ標本器具機械等概ネ具備スルモ將來學界ノ進歩ニ伴ヒ社會ノ趨勢ニ從ヒ完全ニ理想的ナル醫育機關タラシメン事ヲ期ス之ガ爲メ企圖スベキ設備モ亦尠カラズ  
但シ必要急緩ヲ計リ漸次整備スル方計ナリ  
一 本校及附屬醫院建物平面圖左ノ如シ

北

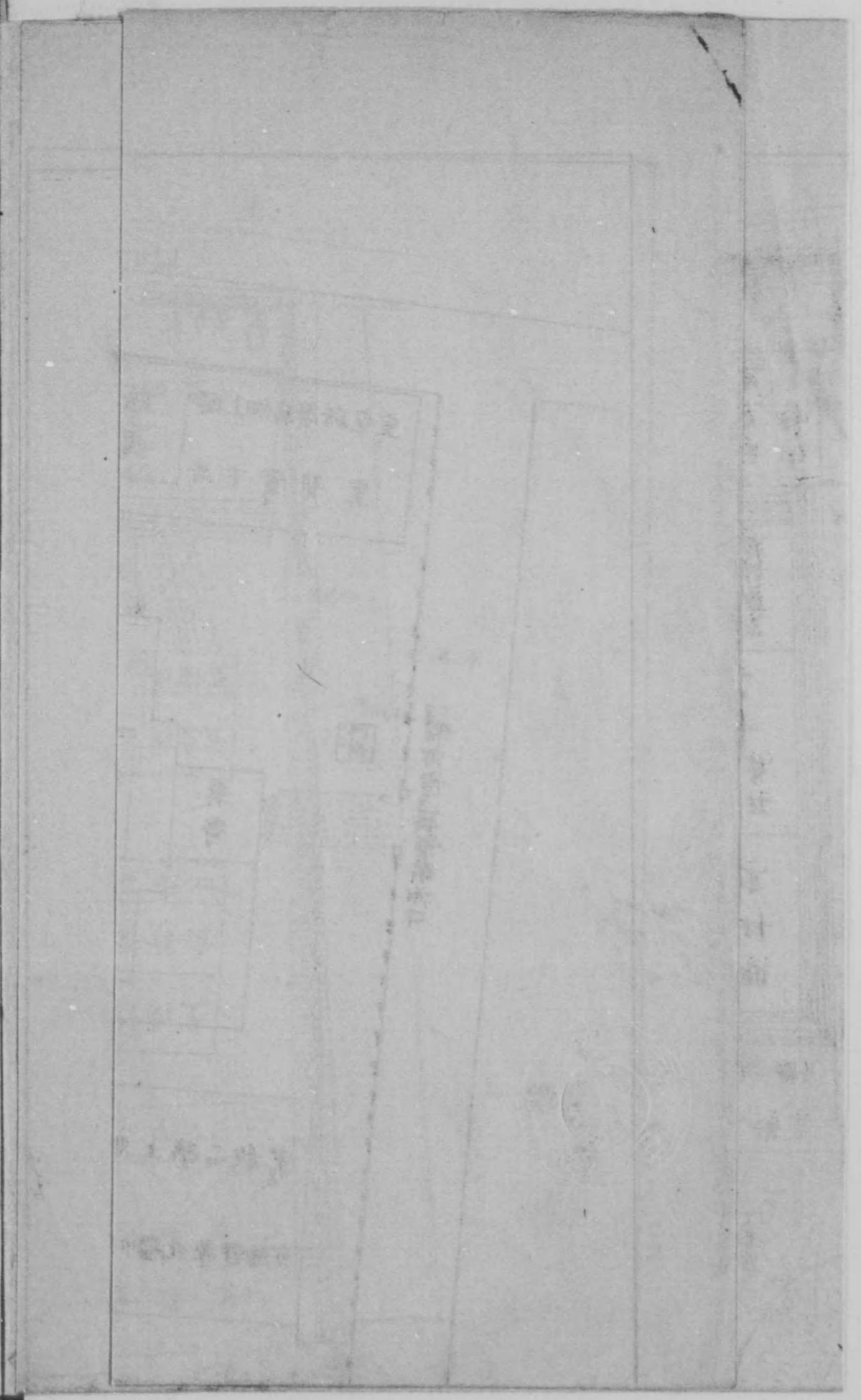
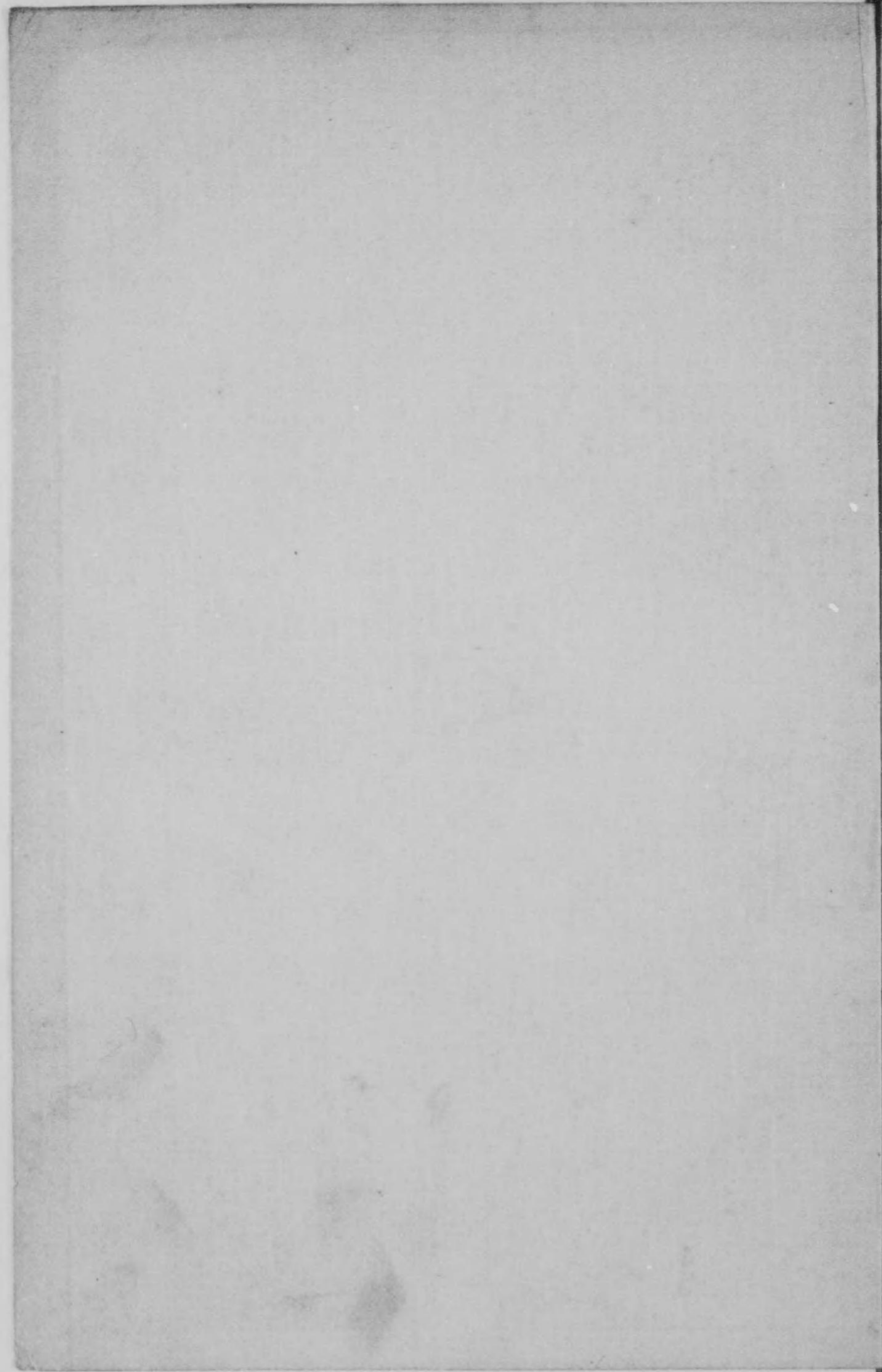
# 日本醫學專門學校及附屬醫院



# 附屬醫院平面圖



1  
300 尺縮



287  
別庫  
15



終

